

平成28年の光化学スモッグの発生状況

平成28年12月



東京都環境局

はじめに

都は、大気汚染防止法第23条及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第146条から第148条までの規定により、光化学オキシダントによる大気の汚染が人の健康に影響を及ぼすおそれがある事態が発生したときは、その事態を一般に周知するとともに、ばい煙を排出する者に対しその排出量の減少措置を勧告し、自動車等を使用する者に対し自動車の運行の制限について協力を求めるなど大気汚染緊急時の措置を実施しています。

都では、光化学スモッグによる被害の防止を図るため、オキシダントに係る緊急時における知事の措置及びその他関連する必要な事項を「東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）」に定め、オキシダント濃度が緊急時の発令基準以上となった場合、光化学スモッグ注意報等を発令しています。

この報告書は、平成28年4月から10月までにおける光化学スモッグの発生状況を取りまとめたものです。

平成28年12月

東京都環境局環境改善部

目 次

I 光化学スモッグの発生状況

1	発令状況の概要	1
(1)	光化学スモッグ緊急時発令体制	1
(2)	光化学スモッグの発令状況の概要	2
2	光化学スモッグの発令状況	3
(1)	光化学スモッグ注意報	3
(2)	光化学スモッグ学校情報	5
(3)	光化学スモッグ予報・警報	5
3	光化学スモッグによると思われる被害届出状況	6
4	気象概況及び注意報発令日の気象状況	6
(1)	気象概況	6
(2)	注意報発令日の気象状況	8
(3)	オキシダント濃度の最高値、最高気温、日射量	13

II 緊急時の対応

1	光化学スモッグ常時監視体制	14
2	緊急時の措置と連絡体制	14
3	都民への情報の周知	15
(1)	テレホンサービスによる情報の提供	15
(2)	区市町村からの情報提供	15
(3)	インターネットによる情報提供	15
	・大気汚染緊急時（オキシダント）の基準及び措置一覧表	16
	・光化学スモッグの影響によると思われる被害発生時の対応	17
	（参考）光化学スモッグについて	18

参考資料

1	平成28年の状況	23
(1)	平成28年光化学スモッグ緊急時措置等明細	23
(2)	オキシダント濃度0.12ppm以上の測定局別・日別時間数	25
(3)	各月の気象概況	26
2	年別推移	27
(1)	注意報・学校情報の発令日数及び被害状況	27
(2)	予報の月別発令日数	28
(3)	注意報（警報）の月別発令日数	29
(4)	注意報の地域別・月別発令日数	30
(5)	警報の発令状況	30
(6)	学校情報の月別提供日数	31
(7)	学校情報の地域別・月別提供日数	32
(8)	光化学スモッグ注意報の連続発令期間	33

(9) オキシダント最高濃度の経年変化	3 4
(10) オキシダント濃度0.12ppm以上の測定点別延べ時間数	3 5
(11) 光化学スモッグによると思われる被害届出数（年別・発令地域別）	3 6
(12) 光化学スモッグ注意報の発令日と最高気温	3 7
(13) 光化学スモッグによると思われる被害届出状況	3 8
(14) 東京都及び近県における光化学スモッグ発令状況及び被害状況	3 9
3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等	4 0
(1) 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）	4 0
(2) 光化学スモッグ緊急時対策要綱改正経緯	5 0

I 光化学スモッグの発生状況

東京都では、大気汚染防止法及び条例に基づき、昭和47年に「東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）」を定め、光化学スモッグ注意報の発令などの大気汚染緊急時対策を実施している。平成28年4月から10月における光化学スモッグの発生状況は以下のとおりである。

1 発令状況の概要

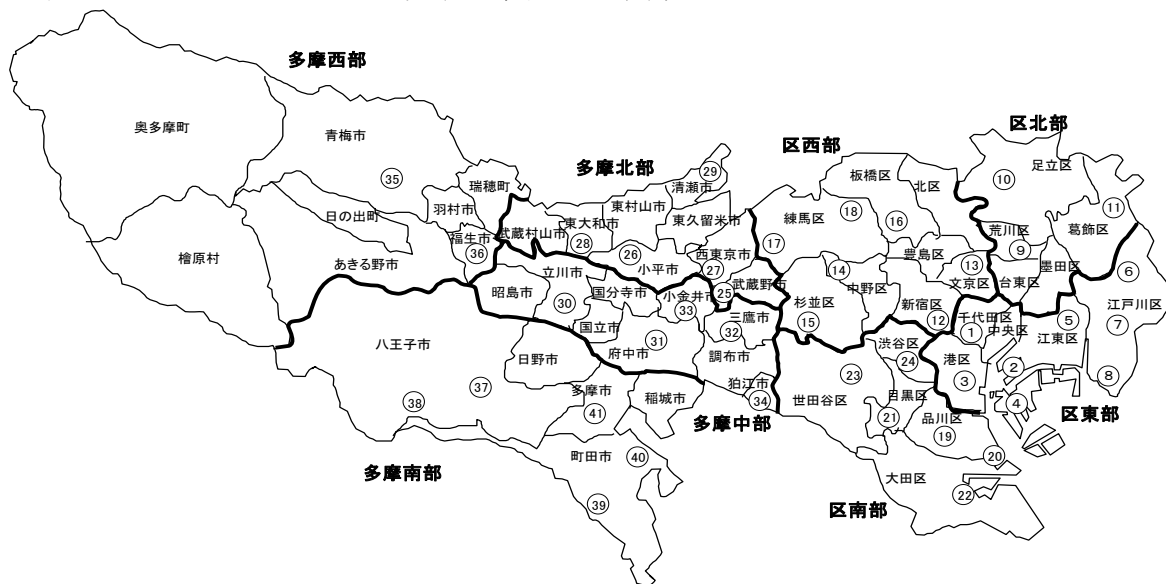
(1) 光化学スモッグ緊急時発令体制

都内を8地域に分けて、光化学スモッグが発生しやすい4月から10月までの間、基準測定点におけるオキシダント濃度が緊急時の発令基準以上になった場合には、光化学スモッグ注意報等を発令している。

表1-1 発令基準及び発令地域（図1-1参照）

発令基準	学 校 情 報：オキシダント濃度が0.10ppm以上で継続するとき。 予 報：注意報以上の状態が予想されるとき。 注 意 報：オキシダント濃度が0.12ppm以上で継続するとき。 警 報：オキシダント濃度が0.24ppm以上で継続するとき。		
発令地域	区 部：区東部・区北部・区西部・区南部の4地域	合 計	
	多摩部：多摩北部・多摩中部・多摩西部・多摩南部の4地域	8 地域	
基準測定点：区部24測定点、多摩部17測定点の計41測定点			

図1-1 オキシダントの発令地域及び基準測定点



地域	区東部	区北部	区西部	区南部
基準測定点	① 千代田区神田司町 ② 中央区晴海 ③ 港区高輪 ④ 港区台場 ⑤ 江東区大島 ⑥ 江戸川区鹿骨 ⑦ 江戸川区春江町 ⑧ 江戸川区南葛西	⑨ 荒川区南千住 ⑩ 足立区西新井 ⑪ 葛飾区鎌倉	⑫ 国設東京新宿 ⑬ 文京区本駒込 ⑭ 中野区若宮 ⑮ 杉並区久我山 ⑯ 板橋区氷川町 ⑰ 練馬区石神井町 ⑱ 練馬区北町	⑲ 品川区豊町 ⑳ 品川区八潮 ㉑ 目黒区碑文谷 ㉒ 大田区東糀谷 ㉓ 世田谷区世田谷 ㉔ 渋谷区宇田川町
地域	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部
基準測定点	㉕ 武蔵野市関前 ㉖ 小平市小川町 ㉗ 西東京市田無町 ㉘ 東大和市奈良橋 ㉙ 清瀬市上清戸	㉚ 立川市泉町 ㉛ 府中市宮西町 ㉜ 調布市深大寺南町 ㉝ 小金井市本町 ㉞ 狛江市中和泉	㉟ 青梅市東青梅 ㊱ 福生市本町	㊲ 八王子市片倉町 ㊳ 八王子市館町 ㊴ 町田市金森 ㊵ 町田市能ヶ谷 ㊶ 多摩市愛宕

(2) 光化学スモッグの発令状況の概要

今年の夏は、太平洋高気圧が平年より北東に偏ったため、東日本は不安定な天候となり 8 月及び 9 月の注意報の発令がなく、平成 24 年の 4 日に次いで 2 番目に少ない 5 日の発令となった。しかし、10 月 2 日は太平洋高気圧に広く覆われたため、10 月として 40 年ぶりの注意報の発令となった。

予報の発令、警報の発令はなく、学校情報の提供日数は 15 日であった。

光化学スモッグによると思われる被害の届出者はなかった。

表 1－2 今年の発令状況

種類	年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	計	最高濃度
予 報	平成 2 8 年	0	0	0	0	0	0	0	0	－
	過去 10 年の平均	0	0.1	0.3	2.3	1.7	0	0	4.4	－
注意報	平成 2 8 年	0	0	0	4	0	0	1	5	0.155 ppm
	過去 10 年の平均	0.1	0.7	1.4	5.3	4.8	1.9	0	13.3	－
学 校 情 報	平成 2 8 年	0	2	1	8	2	1	1	15	－
	過去 10 年の平均	0.5	2.8	4.2	8.5	8.7	2.1	0	26.8	－

表 1－3 光化学スモッグ注意報の地域別発令状況

日数	月 日	曜	区東部	区北部	区西部	区南部	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部
1	7月1日	金	●	●	●		●	●		
2	7月4日	月								●
3	7月7日	木					●	●		
4	7月14日	木	●					●		●
5	10月2日	日			●	●	●			

●：発令地域

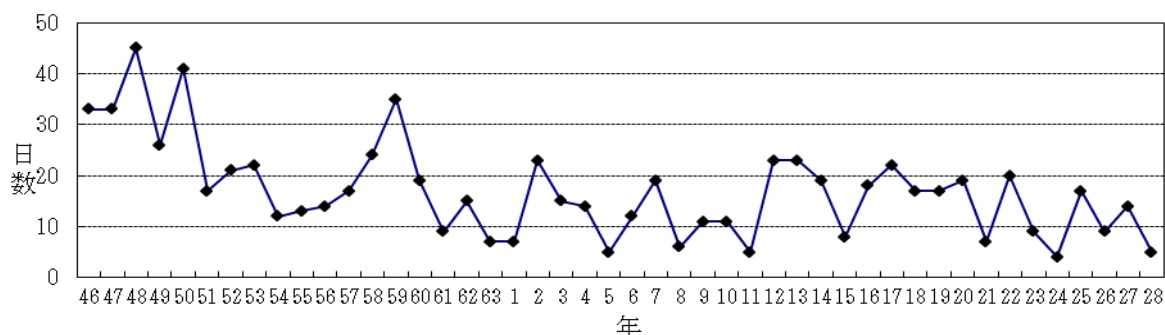
2 光化学スモッグの発令状況

(1) 光化学スモッグ注意報

ア 発令日数

- ① 今年の発令日数は5日で、過去の平均発令日数（17.5日）、過去10年間の平均発令日数（13.3日）を大きく下回った。
- ② 初回の発令日は7月1日で、最終の発令日は10月2日であった。初回から最終発令日までの期間は94日で、過去10年間の平均発令期間（90.9日）と同程度であった。

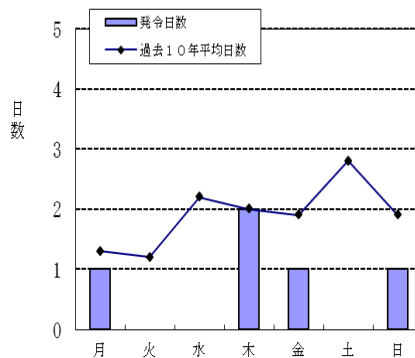
図2-1 注意報の年別発令日数



イ 曜日別発令状況

火、水、土曜日の発令がなかった（図2-2）。

図2-2 曜日別発令状況



ウ 地域別発令状況

地域別発令日数では、多摩北部、多摩中部地域が3日で、多摩西部地域の発令がなかった（図2-3）。

エ 月別発令状況

月別発令日数では、7月が4日、10月が1日であった（図2-4）。

図2-3 地域別発令状況

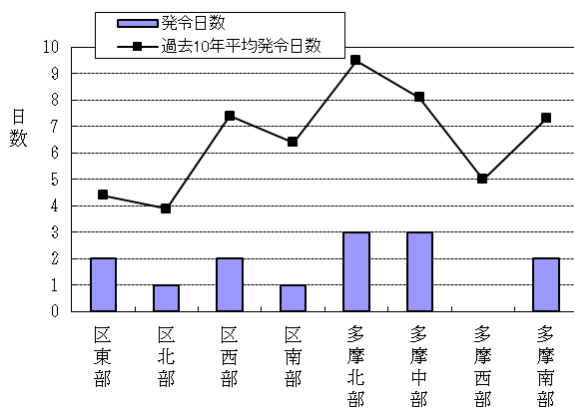
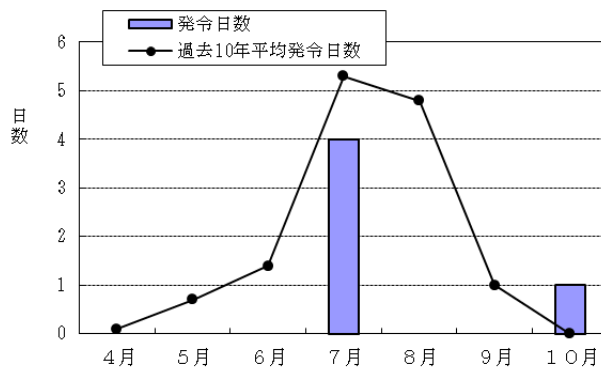


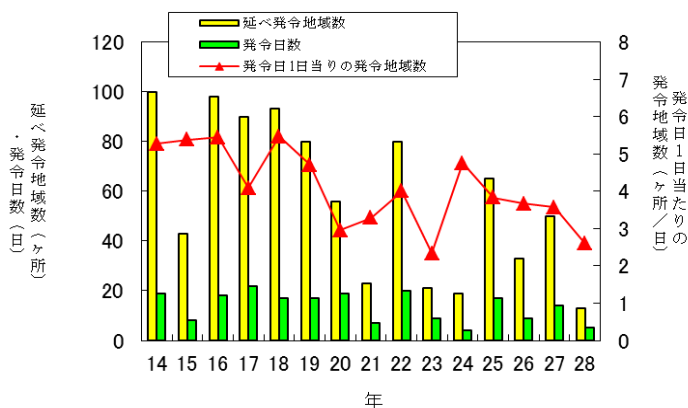
図2-4 月別発令状況



オ 発令地域数の状況

延べ発令地域数は14地域で、発令日の地域数は1～5であった。

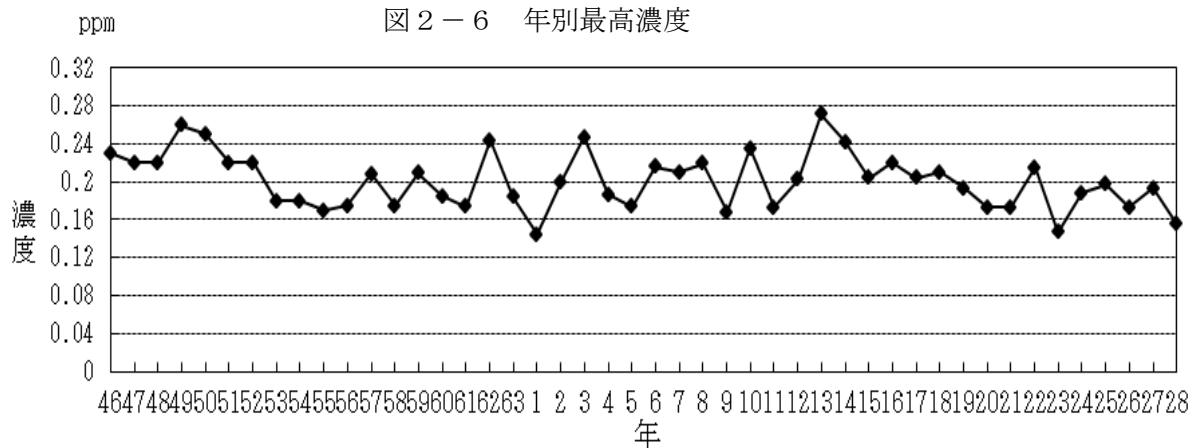
図 2-5 発令日1日当たりの発令地域数



カ オキシダント濃度

① 今年のおキシダントの最高濃度は、7月1日（金）区東部地域の中央区晴海測定局の0.155ppmであった（図2-6）。

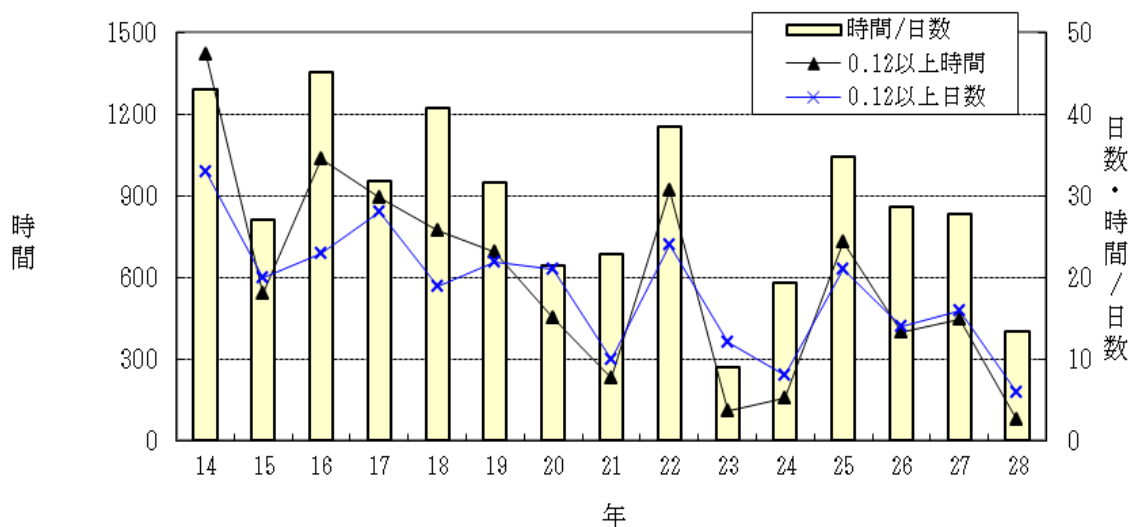
図 2-6 年別最高濃度



② オキシダント濃度が注意報の発令基準の0.12ppm以上となった日数は6日で、0.12ppm以上となった延べ時間数は、80時間（図2-7）であった。

③ 測定局別では、多摩中部地域の狛江市中和泉測定局が最も多く、オキシダント濃度が0.12ppmを超えた時間数は7時間であった。

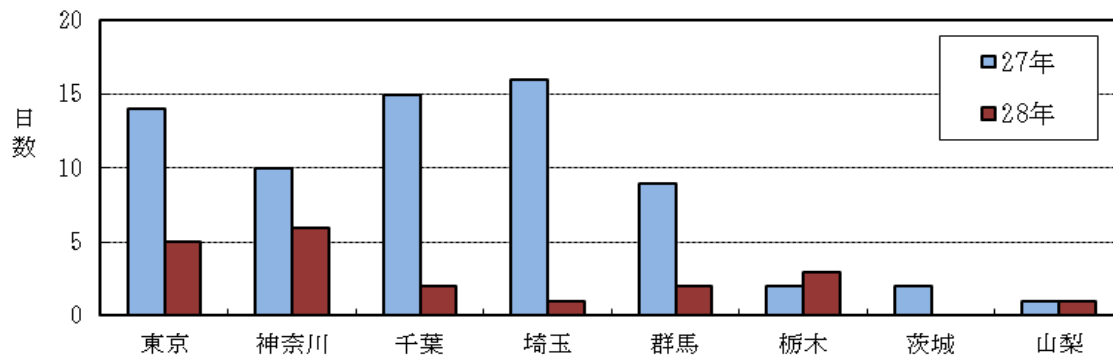
図 2-7 0.12ppm以上の時間・日数



キ 近県の注意報発令状況

近県の注意報の発令状況は、神奈川県が最も多く6日であった。また、栃木県を除き前年を下回った（図2-8）。

図2-8 近県の注意報発令日数



(2) 光化学スモッグ学校情報

学校情報の提供日数は15日で、過去10年の平均提供日数（26.8日）を大きく下回った（図2-9）。地域別では多摩北部地域が多く（図2-10）、月別では7月が多かった（図2-11）。初回の提供日は5月23日、最終提供日は10月2日であった。

図2-9 年別学校情報提供日数

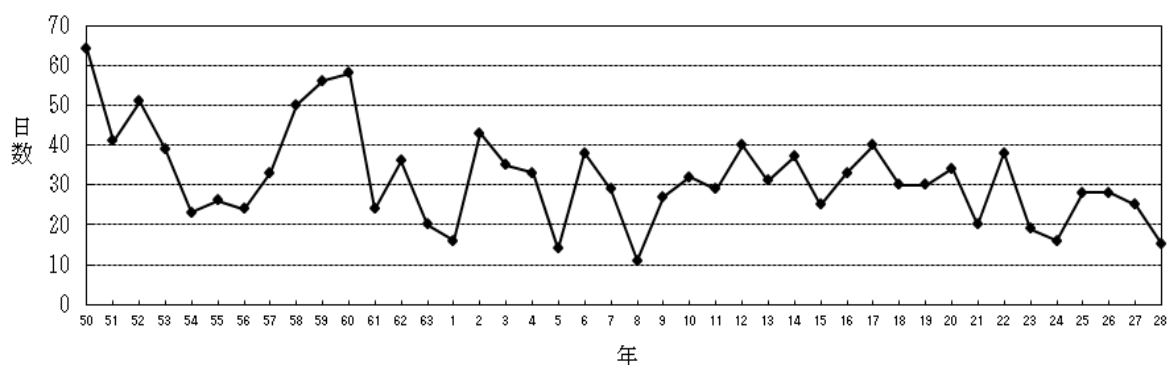


図2-10 地域別学校情報提供日数

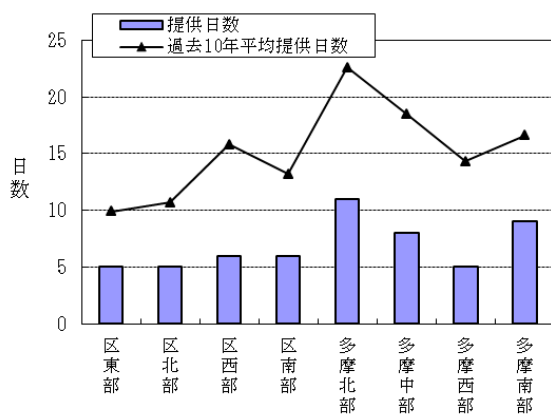
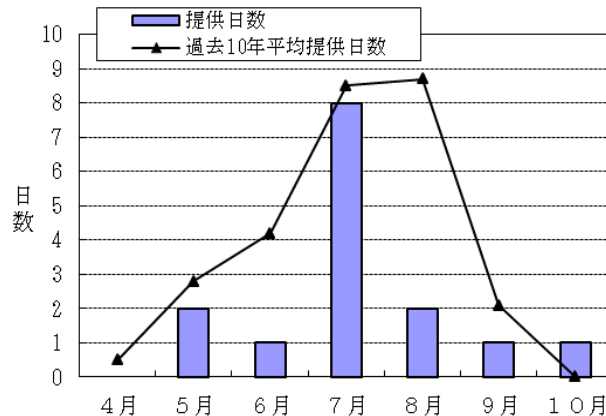


図2-11 月別学校情報提供日数



(3) 光化学スモッグ予報・警報

今年の予報、警報の発令はなかった。

3 光化学スモッグによると思われる被害届出状況

今年の光化学スモッグによると思われる被害の届出は、なかった（表 3－1）。

表 3－1 光化学スモッグ被害届出状況

年	届出数	年	届出数	年	届出数	年	届出数
4 5	10,064	5 7	102	6	183	1 8	2
4 6	28,223	5 8	35	7	5	1 9	0
4 7	8,437	5 9	415	8	0	2 0	94
4 8	4,035	6 0	13	9	3	2 1	0
4 9	2,711	6 1	8	1 0	333	2 2	18
5 0	5,210	6 2	4	1 1	0	2 3	0
5 1	477	6 3	0	1 2	16	2 4	0
5 2	30	元	16	1 3	52	2 5	2
5 3	325	2	4	1 4	410	2 6	0
5 4	64	3	103	1 5	12	2 7	0
5 5	24	4	0	1 6	159	2 8	0
5 6	36	5	0	1 7	247	平均	1,151
過去 10 年平均							12

*平均は昭和 45 年と今年を除く。

4 気象概況及び注意報発令日の気象状況

4～9月の気象概況及び光化学スモッグ注意報を発令した日の気象と汚染状況は次のとおりである。

(1) 気象概況（表 4－1）

4月は、上旬曇りや雨の日が多く、中旬から下旬にかけて周期的に天気に変化した。5月は、上旬から中旬に天気は周期的に変化し、下旬前半は高気圧に覆われ晴天が続いたが、後半は前線の影響で天気がぐずつく日が多かった。6月は5日ごろに梅雨入りし、中旬以降曇りや雨の日が多かった。梅雨明けは、平年より7日遅い、7月28日ごろであったが7月上旬は、晴れた日も多かった。8月は、上旬高気圧に覆われ晴れる日もあったが東の海上で高気圧の勢力が強まり、その西側に沿って関東地方に湿った空気が流れ込んだことから不安定な天候となった。9月上旬は高気圧に覆われ晴れる日もあったがその後は前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。10月上旬は晴れる日もあったが曇りや雨の日が多く、中下旬は天気は周期的に変化した。

- ① 平均気温、最高気温、最低気温は、各月とも平年を上回った。
- ② 真夏日（最高気温が30℃以上の日）、熱帯夜（最低気温25℃以上の日）は8、9月に平年より多く発生した。
- ③ 平均風速は、5月に強く、7月に弱かったがその他の月は平年並みであった。
- ④ 降水量は、7、10月が平年より少なかったが8、9月は台風の影響で多かった。
日降水量1mm以上の日数も8、9月が平年を上回った。
- ⑤ 日照時間は5、6月が平年より多く、9月は少なかった。
- ⑥ 台風の発生、上陸個数は8、9月が平年を上回った。

表4-1 気象状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4～10月	
気象要素	平均気温	15.4	20.2	22.4	25.4	27.1	24.4	18.7	21.9	平均
	(°C)	13.9	18.2	21.4	25.0	26.4	22.8	17.5	20.7	
	最高気温	20.3	25.2	26.3	29.7	31.6	27.7	22.6	26.2	
	(°C)	19.0	22.9	25.5	29.2	30.8	26.9	21.5	25.1	
	最低気温	11.3	15.7	19.1	22.1	23.9	21.9	15.3	18.5	
	(°C)	9.4	14.0	18.0	21.8	23.0	19.7	14.2	17.2	
	平均風速	3.3	3.4	2.9	2.7	3.1	2.4	2.4	2.9	合計
	(m/s)	3.2	3.0	2.8	3.3	3.0	2.6	2.6	2.9	
	降水量	120.0	137.5	174.5	81.5	414.0	287.0	96.5	1311.0	
	(mm)	124.5	137.8	167.7	153.5	168.2	209.9	197.8	1159.4	
天気日数	日照時間	149.2	204.9	139.1	143.7	156.5	79.4	119.6	992.4	合計
	(h)	176.9	167.8	125.4	146.4	169.0	120.9	131.0	1037.4	
	雲 量	18	16	21	20	18	22	19	134	合計
	8.5以上	11.7	15.3	19.5	18.1	13.5	16.0	13.2	107.3	
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.6	0.2	0.4	0.3	0.1	0.2	0.3	2.1	
	不 照	6	4	10	6	3	8	9	46	
		5.4	5.7	8.0	6.0	3.3	6.9	6.4	41.7	
	最低気温	0	0	0	1	7	2	0	10	
	25℃以上	0.0	0.0	0.1	4.1	6.2	1.0	0.0	11.4	
	最高気温	0	1	2	15	26	11	2	57	
	30℃以上	0.0	0.3	2.8	14.8	21.3	7.1	0.1	46.4	
	最高気温	0	0	0	2	1	0	0	3	
	35℃以上	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	0.2	0.0	2.4	
	日降水量	12	8	13	10	12	14	9	78	
	1mm以上	9.9	10.3	11.4	10.3	7.7	11.0	9.8	70.4	
	雷 電	0	0	0	2	5	0	0	7	
		1.1	1.4	1.1	2.3	3.0	1.9	0.6	11.4	
台風	発生個数	0	0	0	4	7	7	4	22	
		0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	21.3	
	上陸個数	0	0	0	0	4	2	0	6	
		0.0	0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	2.6	

(注) 1 気象庁東京管区気象台の資料による。

2 各項目下段は平年値(1981年から2010年までの平均値)

(2)注意報発令日の気象状況

①平成28年7月1日(金)

地上天気図

梅雨前線は南海上で活動が弱まり、関東地方は気圧の谷となった。東京地方は、雲の多い天気であったが、日中は晴れ間が広がり、最高気温は 30.6℃（平年値 27.0℃）まで上昇した。

高層天気図(500hPa)

太平洋高気圧の勢力の目安となる上空 5880 mの等高線が南海上から関東南岸にかかり、梅雨前線の不明瞭化と日照の要因となった。

安定度と上層風

9時の館野（「つくば」に所在する高層気象観測点）の状態曲線によると、地上から1600m付近にかけて逆転層はなかったが、下層大気の状態は安定（地上と1000mとの温度差は6.7℃）で汚染物質が拡散されにくい状態であった。

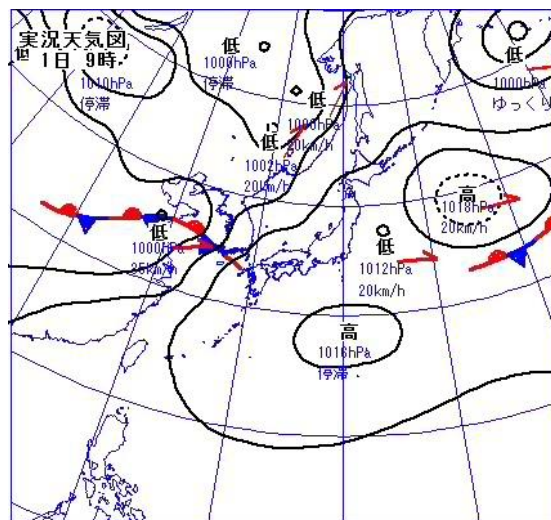
風は、1200～1400m付近で南南東の風7～8m/sとやや強かったが、800m以下では南南西～西南西の風1～2m/s程度と弱く、海風の侵入を大きく左右する場ではなかった。

風と濃度の状況

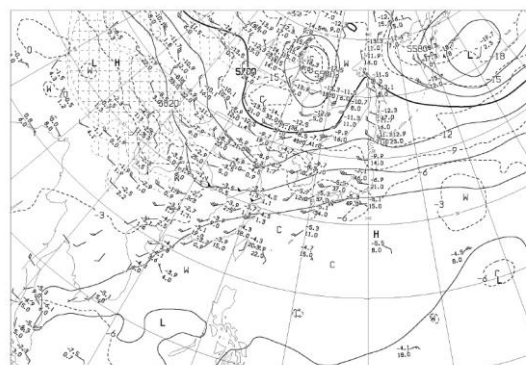
9時は、関東南部で風は弱かったが、内陸部では北寄りの陸風、東京湾や相模湾の沿岸部では海風が入り始め、収束線が形成されていた。その後、東京地方では東京湾海風が南東風として次第に強まったが、収束線の北上速度は遅く、14時頃まで残存し、15時にようやく一様な南東風となり、夕方にかけて強まった。

9時の都内のOx濃度は、最大0.03ppmと低かったが、昼前に日照が出始めると急速に上昇し、14時には多くの地域で0.100ppmを超え、区東部では0.120ppmを超え、注意報を発令した。15時には汚染の範囲が拡大し、区北部と多摩中部に、16時には区西部と多摩北部に注意報を発令した。16時を過ぎると南東風が強まり、Ox濃度は全域で低下に転じ、17時には区東部と区北部で、18時には区西部、多摩中部、多摩北部の注意報を解除した。

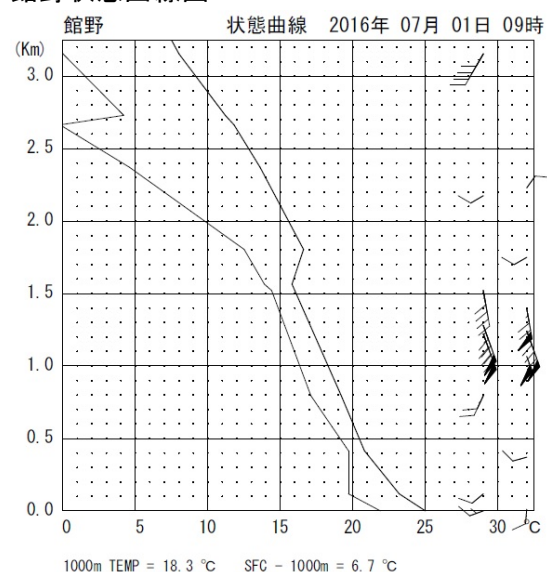
地上天気図



高層天気図



館野状態曲線図



②平成28年7月4日(月)

地上天気図

梅雨前線は関東地方北部に停滞し、関東地方は南部を中心に太平洋高気圧に覆われた。東京地方は、時々雲が広がったがおおむね晴れて、最高気温は 33.8℃（平年値 27.4℃）まで上昇した。夕方には、関東北部から雷雲が南下し、雷雨となる所があった。

高層天気図(500hPa)

500hPa では、太平洋高気圧の勢力の目安となる上空 5880m の等高度線が関東地方北部まで北上した。このため、関東地方南部は梅雨前線の南側になり、日照が多くなり、気温上昇の要因となった。

安定度と上層風

9 時の館野の状態曲線によると、地上から 1600m 付近にかけて逆転層はなく、下層大気の状態は不安定（地上と 1000m との温度差は 8.0℃）で、MMD（最大混合層高度）も 1500m と汚染物質が鉛直方向に拡散されやすい状態であった。

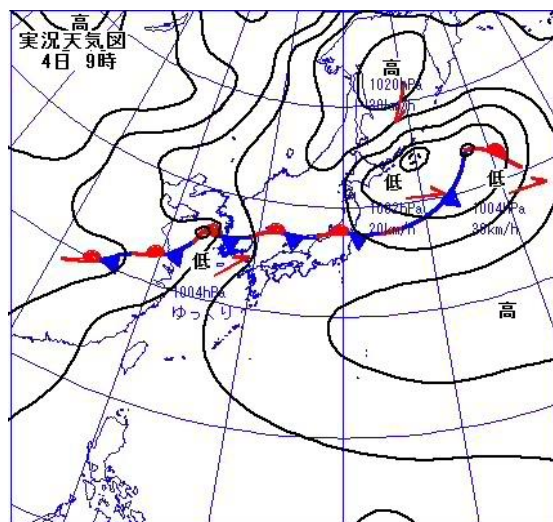
上空 1500m 付近は 6 m の西風、800m 以下は 1～2 m の東風であった。

風と濃度の状況

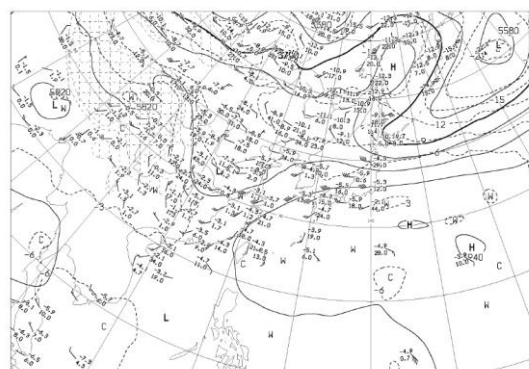
9 時は、関東南部では鹿島灘から吹き込む北東～東風が 2～3 m/s 程度吹いており、東京湾海風は発生しておらず、相模湾の沿岸部では海風が入り始めた。その後、東京地方では 10 時頃から東京湾海風が南東風として吹き始め、次第に北上し、収束線が昼頃から埼玉県との県境付近に顕在化した。16 時には埼玉県方面から雷雲が南下するとともに収束線は南下した。

9 時の都内の Ox 濃度は、0.04ppm 以下と低かったが、昼前から気温が上昇するとともに急速に上昇し、13 時には多摩北部、南部で 0.100ppm を超え、14 時には多摩南部に注意報を発令した。16 時を過ぎると多摩方面から雷雲が南東進して雷雨となったため、Ox 濃度は低下に転じ、17 時に注意報を解除した。

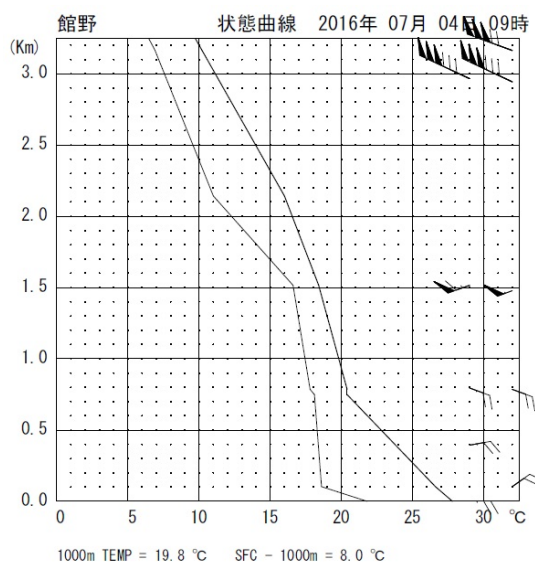
地上天気図



高層天気図



館野状態曲線図



③平成28年7月7日(木)

地上天気図

梅雨前線が東北地方南部から関東地方を南下したが、前線の活動は弱まり、関東地方は太平洋高気圧に覆われた。東京地方は終日快晴となり、最高気温は36.7℃(平年28.7℃)まで上昇した

高層天気図(500hPa)

500hPaでは、太平洋高気圧の勢力の目安となる上空5880mの等高線が関東地方北部まで北上し、関東地方は太平洋高気圧の圏内となった。梅雨前線は不明瞭となり、関東地方は快晴となって気温が上昇した。

安定度と上層風

9時の館野の状態曲線によると、300mから500m付近にかけて顕著な沈降性逆転層があった。下層大気の状態は安定であったが、地上気温が上昇して、次第に不安定となった(1000mとの気温差は約10℃)。MMD(最大混合層高度)も1600mと、汚染物質が鉛直方向に拡散されやすい状態になった。

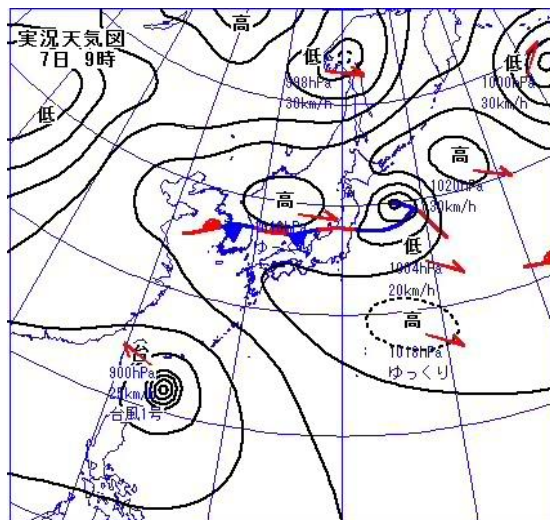
1000m付近で西北西の約10m/sの風が吹いたが、地上付近では西北西の風1~2m/s程度と弱く、海風が侵入しやすい状態となっていた。

風と濃度の状況

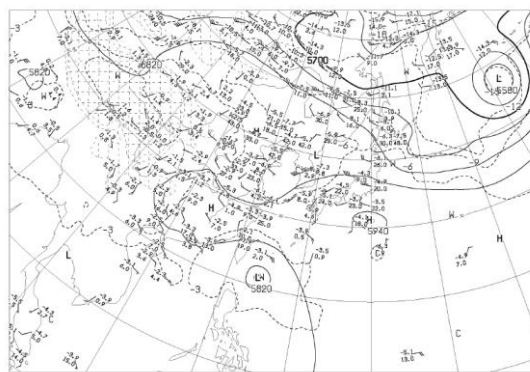
9時は、関東北部からの北よりの風が卓越したが、区東部では東京湾からの南東の風により弱い収束線が形成された。内陸の気温の上昇とともに相模湾からの海風が次第に強まり、神奈川県から多摩中部、多摩北部にかけて明瞭な収束線が形成された。

9時の都内のOx濃度は、最高で0.036ppmと低かったが日照とともに次第に上昇し、14時には複数の地点で0.100ppmを超え、15時に多摩北部、多摩中部に注意報を発令した。しかし、海風の強まりとともに、Ox濃度が低下し、16時に注意報を解除した。

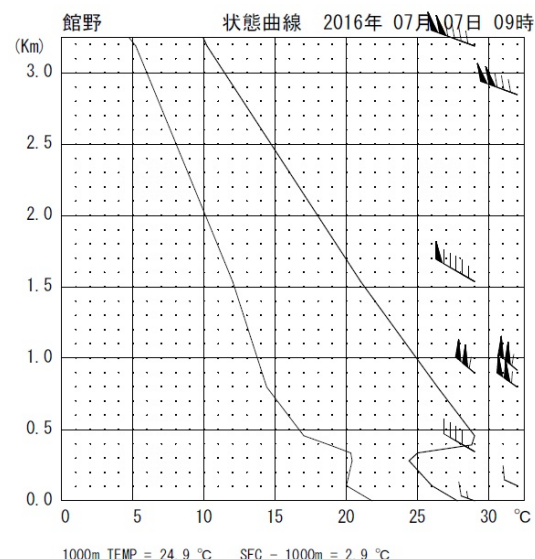
地上天気図



高層天気図



館野状態曲線図



④平成28年7月14日(木)

地上天気図

梅雨前線が南海上に南下したため、関東地方は、雲は広がったものの、一時的に晴れ間も出た。東京地方は、最高気温は 32.9℃（平年 29.1℃）まで上昇した。午後は大気の状態が不安定となって、所々で雨や雷雨となった。

高層天気図(500hPa)

500hPa では、太平洋高気圧の勢力の目安となる上空 5880m の等高線は北緯 30 度以南まで南下し、梅雨前線も南下した。一方、本州付近には寒気を伴った気圧の谷があり、午後、大気が不安定になり関東地方に雨を降らせた。

安定度と上層風

9 時の館野の状態曲線は、高度 700m から 1000m 付近にかけて等温層があり、1000m と地上気温の気温差は 3.2℃と小さく、下層大気の状態は安定で汚染物質が上空に拡散されにくい状態であった。

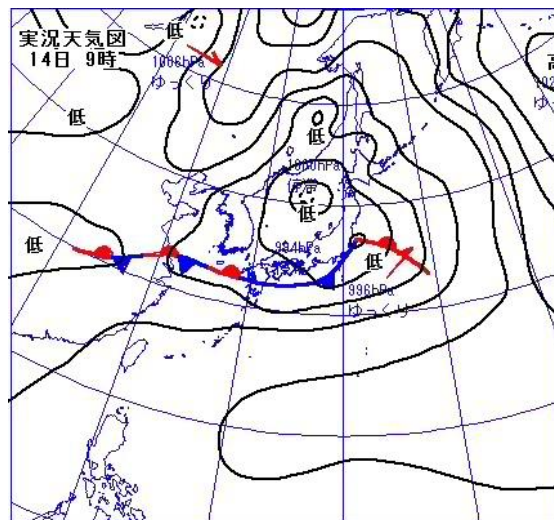
館野の上空は、1000m 付近より下層で、風速 1～3m/s の弱い北東～東北東の風が吹いていた。

風と濃度の状況

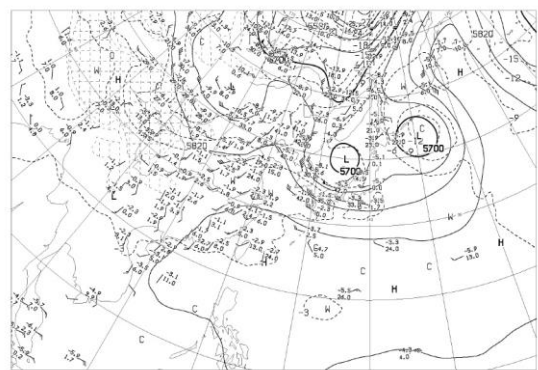
9 時は、都内全域で弱い北～北東の風が吹いていたが、昼前には、東京湾からの東～南東の海風が沿岸部に入り始め、収束線が形成され、15 時頃からは、東京都と埼玉県の境に発生した積乱雲から吹き出したと思われる北よりの冷たい気流が南よりの風との収束を強めた。

都内の $0x$ 濃度は、12 時までは高い所でも 0.080ppm 程度であったが、13 時には、0.100ppm を超える地点が出始め、15 時に多摩中部、多摩南部、16 時に区東部に注意報を発令した。しかし、その後は、高濃度地域でも雨が降ったり、日照がなくなったため、急激に濃度が下がり、16～17 時にかけて注意報を解除した。

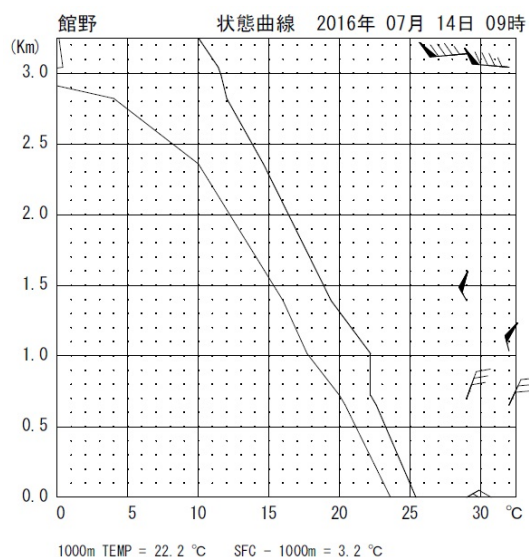
地上天気図



高層天気図



館野状態曲線図



⑤平成28年10月2日(日)

地上天気図

関東地方は、前線の活動が弱まり、日本の南海上及び日本海に中心を持つ高気圧に覆われた。

このため、東京地方は、晴れて、最高気温は27.6℃（平年23.6℃）となった。

高層天気図(500hPa)

500hPaでは、日本の南東海上に高気圧があり、中心付近の高度は、この時期として異例の高度となり、太平洋高気圧の勢力の目安となる5880m以上の領域が東日本から西日本を広く覆い、盛夏期のような状況にあった。

安定度と上層風

9時の館野の状態曲線は、高度1000mから1200mの間に明瞭な逆転層があり、汚染物質が上空に拡散されにくい状況にあった。

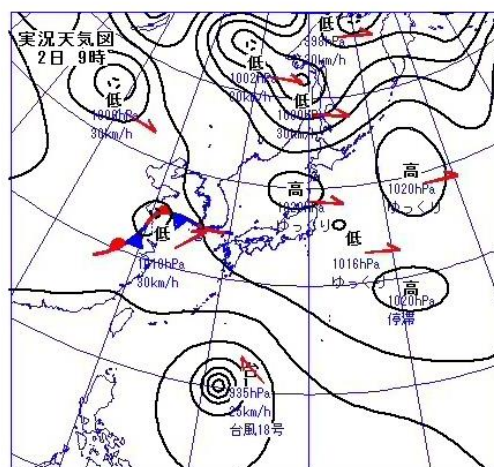
9時の館野は、1500m以下で2~3m/sの北風が吹いていた。

風と濃度の状況

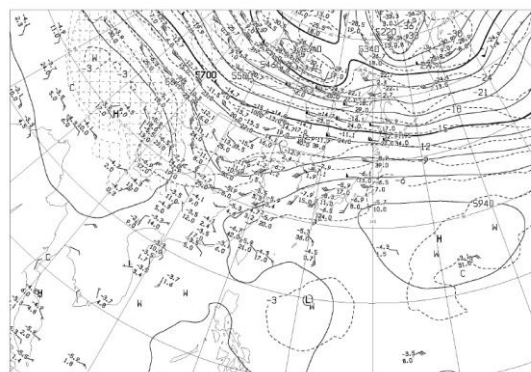
都内は、朝から風の弱い状態が続いていた。13時には茨城県、埼玉県で東風が揃って吹き出し、東京湾からの南風との間で収束線が形成された。

9時の都内のOx濃度は平均0.027ppm、13時までは高い所でも0.075ppmであったが、14時から急速に濃度が上昇し、15時に区南部、16時に区西部、17時に多摩北部に注意報を発令した。しかし、収束線の北上とともに濃度が下降し、いずれの地域でも1時間で注意報を解除した。

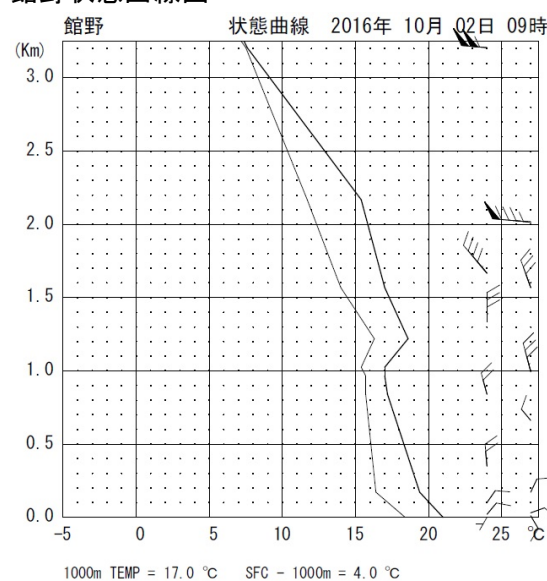
地上天気図

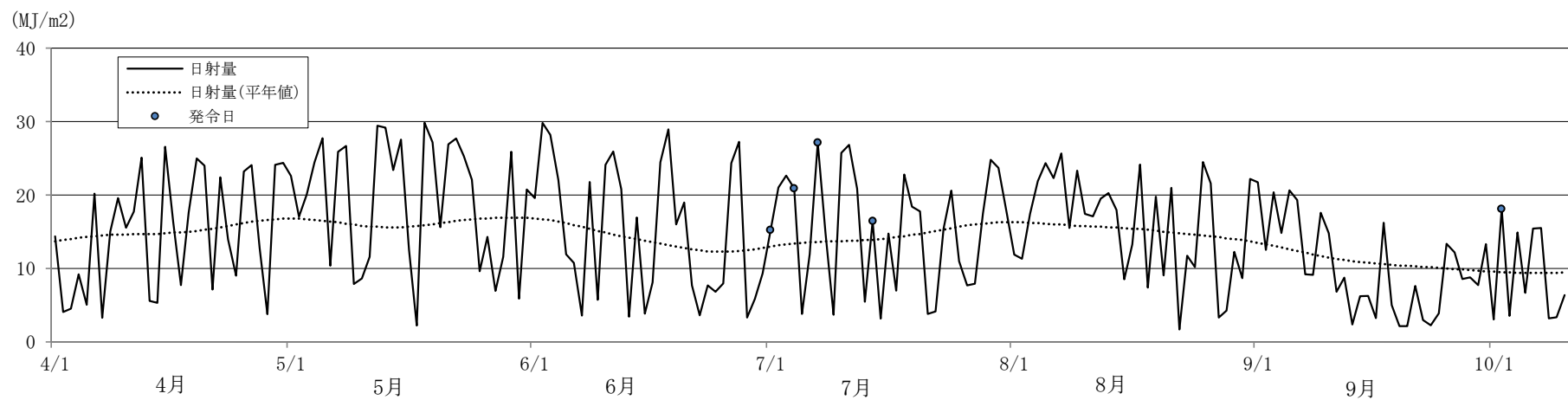
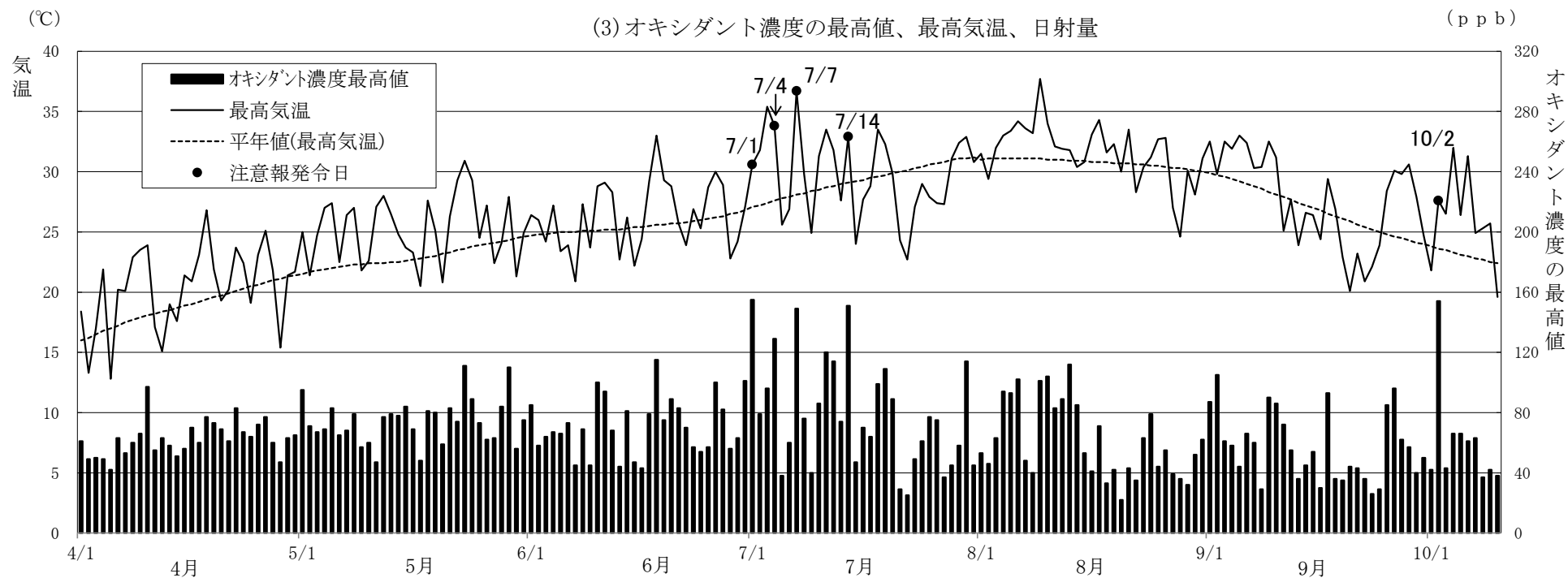


高層天気図



館野状態曲線図





気温、日射量は気象庁東京管区気象台の資料

Ⅱ 緊急時の対応

1 光化学スモッグ常時監視体制

都内の大気汚染状況を把握するため、大気汚染常時測定局を設置し常時監視を行っている。これらの常時監視の結果に基づき光化学スモッグ注意報などの大気汚染緊急時対策を行うほか、環境基準の適合状況の評価など、大気汚染対策の推進に活用している。

なお、都内の光化学オキシダントの基準測定点は、一般環境大気測定局の内、光化学オキシダントを測定している41局である。

(1) 大気汚染常時測定局

① 一般環境大気測定局

地域の一般的な環境の汚染状況を把握するもので、自動車や工場など、特定の発生源から直接影響を受けない場所で測定している。

- ・測定地点数 47ヶ所
- ・測定項目 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、炭化水素、気象（風向・風速・温度・湿度）、酸性雨、日射量

（注）一部の測定局で測定している項目もある。

② 自動車排ガス測定局

自動車排出ガスによる大気汚染の状況を把握するもので、主要道路の沿道、交差点周辺などで測定している。

- ・測定地点数 35ヶ所
- ・測定項目 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、炭化水素、気象（風向・風速・温度・湿度）

（注）一部の測定局で測定している項目もある。

光化学オキシダントは自動車排ガス測定局では測定していない。

③ 東京タワー立体測定局

高度別に大気汚染状況や気象状況を測定しており、高度による汚染濃度の変化や気温の変化などを知ることができる。

- ・測定項目 浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、気象（風向・風速・温度）

④ 檜原大気汚染測定所

大気汚染発生源の少ない檜原村に大気汚染測定所を設置し、常時測定を行っている。

- ・測定項目 二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、気象（風向・風速・温度・湿度）

(2) 情報交換

① 気象庁との情報交換

気象庁に大気汚染データの提供を行い、気象庁から大気汚染気象通報の提供を受けている（9時30分、15時30分）。

② 大気汚染予報の委託

気象予報会社と「大気汚染予報等の調査委託」を締結し、気象情報と大気汚染予報（10時、16時）を緊急時の発令の参考としている。

2 緊急時の措置と連絡体制

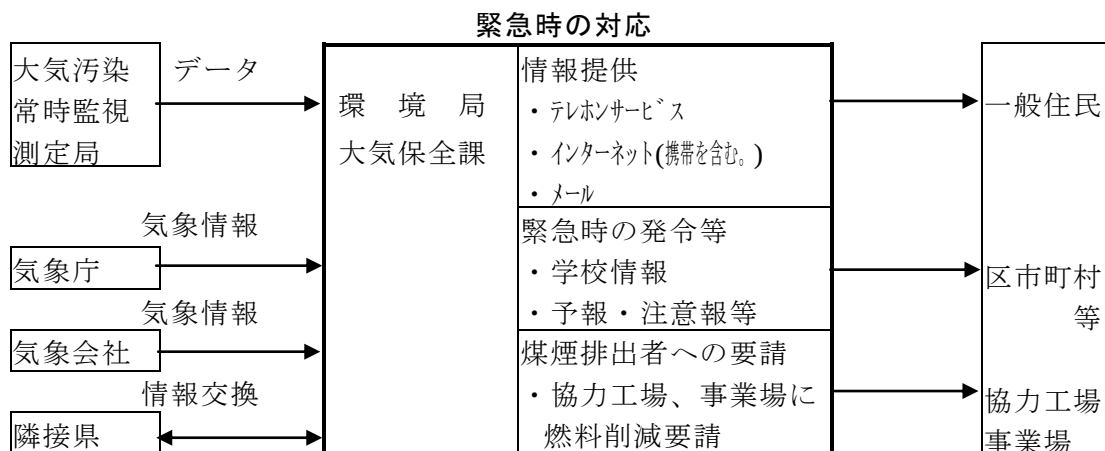
光化学スモッグによる都民の健康被害を防止するため、注意報等を発令したときは、

次のことを行っている。

- (1) 区市町村、関係機関、協力団体、報道機関等にFAXにより周知している。
- (2) 協力工場にFAXにより周知し、燃料使用量等の削減を要請している。
- (3) 教育庁が行っている学校に対する指導
 - ① 日常の備え
対策組織及び情報の受信体制の整備
 - ② 被害防止の措置
気象の観察及び児童生徒の健康管理に気をつける。
 - ③ 被害者救護のための準備
保健室、医薬品等を整備し、被害発生時の措置や関係機関への連絡方法等を周知徹底する。
 - ④ 緊急時の措置
努めて屋外の活動、運動を取りやめ校舎内に退避させる。

3 都民への情報の周知

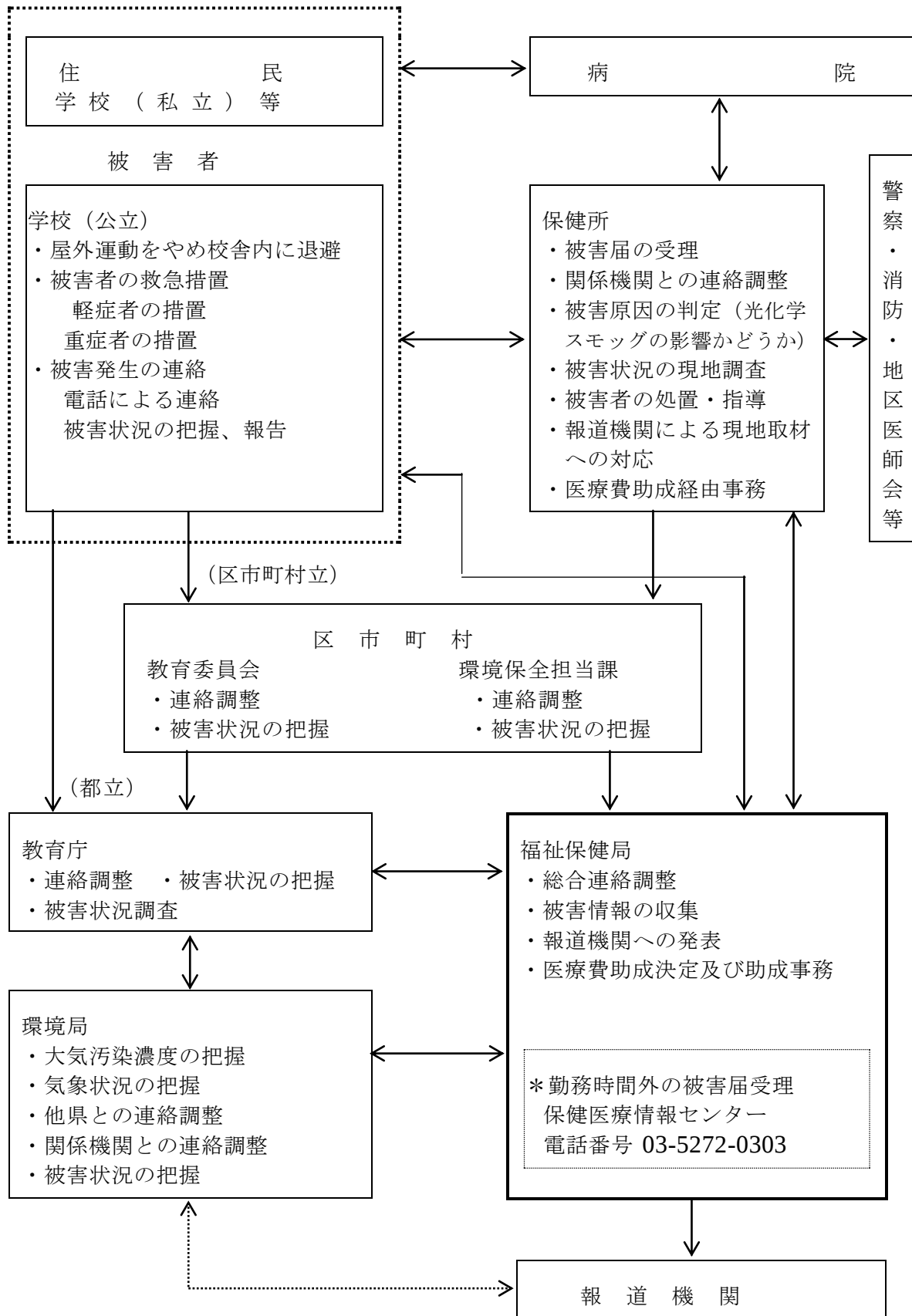
- (1) テレホンサービスによる情報の提供
予報や注意報等の発令時の情報をわかりやすく的確に知らせるため、テレホンサービスを実施している。
テレホンサービス番号：03-5320-7800
- (2) 区市町村からの情報提供
東京都から提供される情報をもとに区市町村は地域内の周知を図っている。
- (3) インターネットによる情報提供
インターネットにおいて、大気汚染データや地図情報に加え、予報や注意報等の発令内容を提供している。
ホームページアドレス（環境局）：<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>
〃（緊急時発令情報：パソコン、携帯電話）
：<http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/ox.php>
〃（緊急時発令情報：メール登録）
：<http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/mail.php>



大気汚染緊急時（オキシダント）の基準及び措置一覧表

発令区分	発令地域	発令の基準	解除の基準	措 置		
				協力工場等	自動車等	一 般
光 化 学 スモッグ 予 報		気象条件からみて、光化学スモッグ注意報等が発令されると予想されるとき、又は、オキシダント濃度が光化学スモッグ注意報発令基準に近いうえ、さらに悪化することが予想されるとき。	発令の基準に掲げる状態がないと認められるとき、又は光化学スモッグ注意報が発令されたとき。	燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む）により、ばい煙の排出量を減少するよう自主的協力を求める。	不要不急の目的により、自動車等を使用しないことについて協力を求める。	ばい煙を排出するものに対し、ばい煙の排出量の減少について協力を求める。
光 化 学 スモッグ 注 意 報	区 東部	オキシダントの大気中における含有率が0.12ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続又は悪化すると認められるとき。	発令地域内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.12ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれが無くなったと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の20%程度削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告する。	当該地域を通過しないよう協力を求める。	上記のほか、次の事項について、注意するよう周知する。 ① 屋外になるべく出ないようにする。 ② 屋外運動はさしひかえるようにする。 ③ 光化学スモッグの被害を受けた人は、もよりの保健所に連絡する。
	区 北部					
	区 西部					
	区 南部					
光 化 学 スモッグ 警 報	多摩北部	オキシダントの大気中における含有率が0.24ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.24ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれが無くなったと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の40%程度削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告する。	東京都公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請する。	
	多摩中部					
	多摩西部					
	多摩南部					
光 化 学 スモッグ 重大緊急報	の 8 地域	オキシダントの大気中における含有率が0.40ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.40ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれが無くなったと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の40%程度削減（これに準ずる措置を含む。）するよう命令する。		
光 化 学 スモッグ 学校情報	上 記 の 8 地域 と 同 じ	（提供基準） オキシダントの大気中における含有率が0.10ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	（解除基準） オキシダントの大気中における含有率が0.10ppm未満となること、気象条件からみて明らかであるとき。			上記①、②、③について注意するよう周知する。

光化学スモッグの影響によると思われる被害発生時の対応



(参考)

光化学スモッグについて

1 光化学スモッグとは

自動車や工場などから排出される窒素酸化物と炭化水素が、太陽の強い紫外線を受けると光化学反応を起こし、オゾンなどの光化学オキシダント（酸化性物質）を発生させる。

気象条件によっては、この光化学オキシダントがたまり白くもやがかかったような状態になることがある。この状態を「光化学スモッグ」と呼んでいる。

光化学スモッグが我が国において注目されるようになったのは、昭和45年7月18日に杉並区でクラブ活動中の女子高校生たちが被害を受けたときからである。

2 発生しやすい条件

光化学スモッグは4月から10月にかけての日差しが強くて気温の高い、風の弱い日に発生する。特に、太平洋高気圧に覆われる7～8月は、気温も高く紫外線も強く安定した天気が続くため、光化学スモッグが発生しやすい気象条件になる。

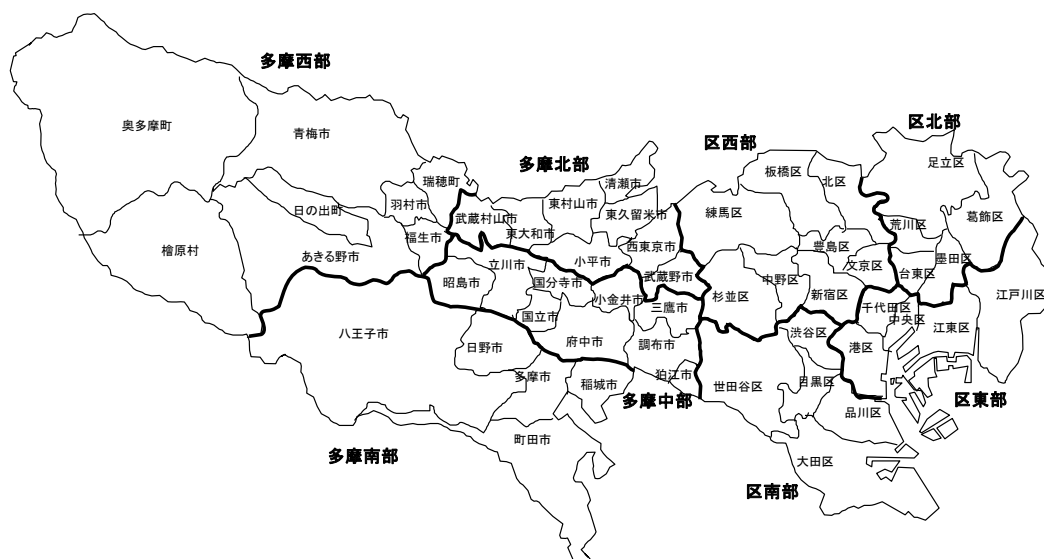
3 発令基準と発令地域

光化学スモッグが発生したとき、又は発生しそうなときは、下記の発令基準と発令地域に基づき予報や注意報を発令し、措置を行っている。

発令基準

段 階	発令の基準	措 置	
		緊急時協力工場・事業場	一 般
学校情報	オキシダント濃度0.10ppm以上で継続するとき	――	・屋外になるべく出ない ・屋外運動は差し控える ・被害にあったときは保健所に届け出る
予 報	高濃度汚染が予想されるとき	燃料使用量の削減要請	
注意報	オキシダント濃度0.12ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より20%程度削減勧告	
警 報	オキシダント濃度0.24ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より40%程度削減勧告	
重 大 緊急報	オキシダント濃度0.40ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より40%以上削減命令	

発令地域

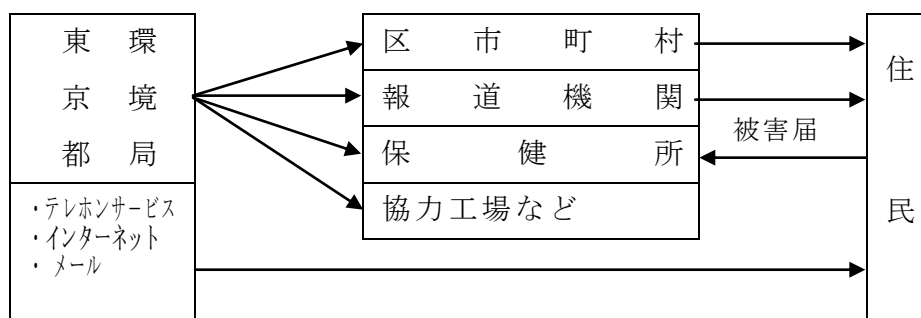


4 情報提供

1 時間ごとの都内の光化学オキシダント濃度の分布状況及び光化学スモッグの発令状況をインターネットで提供している。また、光化学スモッグ発令状況は希望者にメールで提供している。

5 光化学スモッグの連絡方法

光化学スモッグの連絡は、区市町村を通じて知らせている。



6 光化学スモッグが発生したときの注意

- ・屋外になるべく出ないようにする。
- ・自動車等を使用しないようにする。
- ・光化学スモッグの被害を受けた場合は、最寄りの保健所に連絡する。

(注) 光化学スモッグによる健康への影響

光化学スモッグによる影響としては、目の刺激や喉の刺激があり、目がチカチカする、喉が痛いなどの症状が出る場合がある。

7 光化学スモッグ発生のメカニズム

(1) メカニズム

光化学スモッグは、自動車や工場・事業場などから排出される大気中の窒素酸化物及び揮発性有機化合物（VOC）が太陽光線（紫外線）を受けて、光化学反応により二次的汚染物質を生成することにより発生するものである。

二次的汚染物質としては、オゾン、パーオキシアシルナイトレート（PAN）及び二酸化窒素等の酸化性物質、ホルムアルデヒド、アクロレイン等の還元性物質があるが、ほとんどがオゾンである。光化学反応により生成される酸化性物質のうち、二酸化窒素を除いたものを「光化学オキシダント」と呼んでいる。



(2) オキシダントが高濃度になる気象等の条件

- ① 気温 日最高気温が25℃以上
- ② 日照 日照があること（日合計日射量13MJ/m²以上）。
- ③ 海風 東京湾及び相模湾からの海風の進入があること。
- ④ 大気の状態が安定であること。
安定度 館野高層気象台9時の状態曲線において、地上と1000mの気温差が7℃以下
- ⑤ 上空の風 館野高層気象台9時の状態曲線において、1000m以下の風向が南よりの風でないこと
- ⑥ 天気図 ア 太平洋高気圧に覆われた夏型の気圧配置（鯨の尾型）
イ 移動性高気圧に覆われた気圧配置
ウ 低気圧や前線の間の高圧部で気圧傾度が緩い場合

参 考 資 料

- 1 平成28年の状況
- 2 年別推移
- 3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等

1 平成28年の状況

(1) 平成28年光化学スモッグ緊急時措置等明細

月 日 (曜日)	予 報			注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被害 届出 数 人
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃度 ppm	
5月23日 (月)							1	多摩北部	15:20～ 17:20	16	小平市小川町	0.111	
								多摩中部	16:20～ 17:20	16	東大和市奈良橋	0.111	
								多摩西部	16:20～ 18:20	16	府中市宮西町	0.105	
								多摩南部	15:20～ 17:20	15	福生市本町	0.109	
											多摩市愛宕	0.107	
5月29日 (日)							2	多摩北部	14:20～ 15:20	13	東大和市奈良橋	0.106	
								多摩中部	12:20～ 14:20	12	府中市宮西町	0.103	
								多摩南部	13:20～ 14:20	13	多摩市愛宕	0.103	
6月18日 (土)							3	区 東部	15:20～ 17:20	15	江戸川区春江町	0.115	
								区 北部	15:20～ 17:20	15	葛飾区鎌倉	0.114	
								区 南部	14:20～ 16:20	15	品川区豊町	0.109	
7月1日 (金)				1	区東部	14:20～ 17:20	4	区東部	14:20～ 18:20	16	中央区晴海	0.155	
					区北部	15:20～ 17:20		区北部	14:20～ 17:20	15	足立区西新井	0.128	
					区西部	16:20～ 18:20		区西部	15:20～ 18:20	17	練馬区石神井町	0.137	
								区南部	14:20～ 18:20	16	世田谷区世田谷	0.126	
					多摩北部	16:20～ 18:20		多摩北部	14:20～ 19:20	17	東大和市奈良橋	0.135	
					多摩中部	15:20～ 18:20		多摩中部	14:20～ 18:20	16	府中市宮西町	0.132	
								多摩西部	16:20～ 19:20	17	福生市本町	0.119	
								多摩南部	14:20～ 18:20	16	多摩市愛宕	0.115	
										15	町田市能ヶ谷	0.115	
7月4日 (月)				2			5	区西部	16:20～ 17:20	16	杉並区久我山	0.100	
										15	練馬区石神井町	0.100	
								多摩北部	14:20～ 17:20	16	練馬区石神井町	0.100	
								多摩中部	15:20～ 17:20	16	西東京市田無町	0.112	
					多摩南部	14:20～ 17:20		多摩南部	14:20～ 18:20	15	府中市宮西町	0.127	
											町田市能ヶ谷	0.129	
7月7日 (木)				3			6	区東部	14:20～ 15:20	14	江戸川区春江町	0.102	
								区西部	15:20～ 16:20	15	練馬区石神井町	0.113	
								区南部	15:20～ 16:20	12	大田区東糀谷	0.144	
					多摩北部	15:20～ 16:20		多摩北部	15:20～ 17:20	15	小平市小川町	0.145	
					多摩中部	15:20～ 16:20		多摩中部	15:20～ 17:20	15	小金井市本町	0.149	
								多摩西部	15:20～ 16:20	15	福生市本町	0.113	
								多摩南部	14:20～ 17:20	16	多摩市愛宕	0.110	
7月11日 (月)							7	区東部	14:20～ 16:20	14	江戸川区南葛西	0.120	
								区北部	16:20～ 17:20	15	葛飾区鎌倉	0.105	
7月12日 (火)							8	区北部	15:20～ 16:20	15	足立区西新井	0.103	
								区西部	14:20～ 16:20	14	練馬区石神井町	0.114	
								多摩北部	13:20～ 15:20	14	西東京市田無町	0.109	

月 日 (曜日)	予 報			注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被害 届出 数 人
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時刻	測 定 局	濃度 ppm	
7月14日 (木)				4	区東部	16:20～ 17:20	9	区東部	13:20～ 17:20	16	中央区晴海	0.129	
								区北部	14:20～ 17:20	16	荒川区南千住	0.113	
								区西部	14:20～ 16:20	15	中野区若宮	0.114	
								区南部	14:20～ 17:20	14	世田谷区世田谷	0.118	
								多摩北部	15:20～ 16:20	15	武蔵野市関前	0.111	
								多摩中部	15:20～ 16:20	15	狛江市中和泉	0.151	
								多摩南部	15:20～ 17:20	15	町田市金森	0.149	
7月19日 (火)							10	多摩北部	17:20～ 18:20	17	東大和市奈良橋	0.104	
								多摩西部	17:20～ 18:20	17	福生市本町	0.105	
								多摩南部	15:20～ 17:20	15	町田市金森	0.109	
7月30日 (土)							11	多摩西部	17:20～ 18:20	17	青梅市東青梅	0.114	
8月6日 (土)							12	多摩北部	16:20～ 17:20	15	西東京市田無町	0.102	
										16	東大和市奈良橋	0.102	
8月13日 (土)							13	区南部	15:20～ 17:20	15	品川区八潮	0.112	
								多摩北部	16:20～ 18:20	17	小平市小川町	0.112	
								多摩中部	16:20～ 18:20	17	小金井市本町	0.112	
								多摩南部	15:20～ 17:20	15	町田市能ヶ谷	0.110	
9月2日 (金)							14	多摩南部	14:20～ 16:20	14	町田市金森	0.105	
10月2日 (日)				5	区西部	16:20～ 17:20	15	区西部	15:20～ 18:20	16	練馬区石神井町	0.147	
					区南部	15:20～ 16:20		15	目黒区碑文谷	0.154			
					多摩北部	17:20～ 18:20		17	清瀬市上清戸	0.134			
					多摩中部	16:20～ 18:20		16	狛江市中和泉	0.120			

(2) オキシダント濃度0.12ppm以上の測定局別・日別時間数

		7月					10月	合計時間
		1日	4日	7日	11日	14日	2日	
区東部	千代田区神田司町	1				1		2
	中央区晴海	1				1		2
	港区高輪	1						1
	港区台場							0
	江東区大島							0
	江戸川区鹿骨	1						1
	江戸川区春江町	1						1
	江戸川区南葛西	1			1	1		3
区北部	荒川区南千住	1						1
	足立区西新井	2						2
	葛飾区鎌倉							0
区西部	国設東京新宿	1						1
	文京区本駒込							0
	中野区若宮	2					1	3
	杉並区久我山						1	1
	板橋区氷川町	1						1
	練馬区石神井町	2					1	3
	練馬区北町	2						2
区南部	品川区豊町							0
	品川区八潮							0
	目黒区碑文谷						2	2
	大田区東糀谷			2				2
	世田谷区世田谷	2					1	3
	渋谷区宇田川町						1	1
多摩北部	武蔵野市関前	2					1	3
	小平市小川町	2		1				3
	東大和市奈良橋	2		1				3
	清瀬市上清戸	2					1	3
	西東京市田無町	3					1	4
多摩中部	立川市泉町							0
	府中市宮西町	1	1					2
	調布市深大寺南町			1		1		2
	小金井市本町	3		1				4
	狛江市中和泉	2		2		2	1	7
西部	青梅市東青梅							0
	福生市本町							0
多摩南部	八王子市片倉町		2			1		3
	八王子市館町		2			1		3
	町田市金森		2			3		5
	町田市能ヶ谷		2			1		3
	多摩市愛宕		2			1		3
合 計		36	11	8	1	13	11	80

(3) 各月の気象概況

4月	関東地方は、上旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、7日はまとまった雨が降った。中旬から下旬にかけては低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過し、天気は周期的に変わった。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均は、いずれも平年より高くなった。日照時間の月合計は149.2時間で、平年の84%とやや少なかった。降水量の月合計は120.0mmで平年並みであったが、曇天日数（雲量≥ 8.5）や日降水量1mm以上の日数は平年よりやや多かった。
5月	関東地方は、上旬から中旬はおおむね周期的に天気変化し、晴れの日が長続きすることはなかった。下旬になると、前半は高気圧に覆われて晴天が続き、後半は前線や低気圧の影響で天気がぐずついた。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均は、いずれも平年より高く、特に最高気温がかなり高かった。また、最高気温が25℃以上の夏日は16日もあり、平年の2倍近い日数となった。日照時間の月合計は204.9時間で、平年の122%と多かった。月降水量は137.5mmで平年並みであった。
6月	関東地方では、上旬の前半は高気圧に覆われて、晴れる日が多かったが、その後は前線の影響を受ける日が多くなり、気象庁は平年よりやや早い6月5日に関東甲信地方の「梅雨入り」を発表した。中旬以降は梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多く、特に中旬は梅雨前線上の低気圧の影響で、大雨となった日があった。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均はいずれも平年より高かった。また、最高気温25℃以上の夏日は平年より2日程多かった。月降水量は174.5mmで平年並み、日照時間の月合計は139.1時間で平年の111%と多かった。
7月	関東地方は、月の前半は高気圧に覆われて晴れた日があったが、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。月の後半は、梅雨前線は不明瞭となったが、北から高気圧が張り出したため、冷たく湿った東よりの風の影響で曇りの日が多く、雨が降った日もあった。月の終わり頃は東海上から高気圧に覆われるようになり、気象庁は関東甲信地方の「梅雨明け」を平年よりも7日遅い7月28日に発表した。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均は平年並みか平年よりもやや高かった。日照時間の月合計は143.7時間で平年並み、不照日数や日降水量1mm以上の日数も平年並みであったが、降水量の月合計は81.5mmで平年より少なかった。
8月	関東地方は、月の前半は高気圧に覆われ、晴れて気温が高い日が多かった。月の後半は、東海上で高気圧の勢力が強まり、その西の縁に沿って関東地方に湿った空気が流れ込んだ。また、台風が相次いで接近または上陸したため、曇りや雨、または雷雨となった日が多く、大雨になった日もあった。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均は、いずれも平年より高かった。猛暑日（最高気温35℃以上の日）は1日で、平年（1.3日）と変わらず、厳しい暑さとなった日は少なかった。日照時間の月合計は156.5時間で平年並みだったが、降水量の月合計は414.0mmで平年の2倍以上になり、かなり多かった。また、雷日数は5日で、平年（3日）より多かった。
9月	関東地方は、月のはじめは、高気圧に覆われて晴れた日があったが、その後は秋雨前線が本州の南岸や本州付近に停滞することが多くなり、曇りや雨の日が多くなった。中旬から下旬にかけては、台風や湿った空気が流れ込んだ影響で大雨になった日もあった。 東京地方は、平均気温、最高気温、最低気温いずれも平年より高かった。秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったため、日照時間の月合計は79.4時間で平年の66%とかなり少なく、降水量の月合計は287.0mmで、平年の137%と多かった。
10月	関東地方は、上旬は日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が強かったため湿った暖かい空気が流れ込みやすく、月初め晴れた日もあったが、曇りや雨の日が多かった。中下旬は高気圧と低気圧や前線が交互に日本付近を通過し、数日の周期で天気に変化した。 東京地方の平均、最高、最低気温の月平均はいずれも平年より高かった。4日の最高気温32.0℃は、統計開始以来10月の3位の記録であった。日照時間は119.6時間で平年の91%、降水量は96.5mmで平年の約半分であった。

2 年別推移

(1) 注意報・学校情報の発令日数及び被害状況

年	注 意 報											学 校 情 報											被害者 (人)
	区 部				多 摩 部				延日数	全域 日数	日 数	区 部				多 摩 部				延日数	日 数		
	東	北	西	南	北	中	西	南				東	北	西	南	北	中	西	南				
平成28	2	1	2	1	3	3	0	2	14	0	5	5	5	6	6	11	8	5	9	55	15	0	
27	2	3	11	7	11	8	4	4	50	1	14	13	15	18	14	22	19	16	15	132	25	0	
26	2	2	3	4	8	5	5	4	33	1	9	8	8	11	7	26	18	18	14	110	28	0	
25	5	5	8	7	12	11	8	9	65	2	17	10	8	16	15	24	21	15	21	130	28	2	
24	3	2	3	3	2	2	2	2	19	2	4	5	7	9	8	13	7	8	6	63	16	0	
23	1	2	5	2	2	3	3	3	21	1	9	6	7	13	6	12	12	8	9	73	19	0	
22	7	9	11	8	15	12	9	9	80	3	20	14	18	22	19	33	26	23	23	178	38	18	
21	1	0	4	2	7	4	3	2	23	0	7	8	8	10	8	15	12	10	8	79	20	0	
20	5	0	6	10	11	11	2	11	56	0	19	10	8	16	14	31	26	15	26	146	34	94	
19	8	6	11	11	13	11	5	15	80	2	17	13	13	22	22	26	20	16	21	153	30	0	
18	10	10	12	10	14	14	9	14	93	6	17	12	15	22	19	24	24	14	23	153	30	2	
17	8	9	16	11	15	11	10	10	90	3	22	14	15	25	16	34	26	32	23	185	40	247	
16	12	13	14	13	12	12	10	12	98	6	18	15	14	22	17	28	24	24	23	167	33	159	
15	4	4	5	5	7	6	8	4	43	4	8	9	8	16	12	21	14	19	13	112	25	12	
14	10	10	14	9	17	15	15	10	100	7	19	17	17	23	18	32	25	31	25	188	37	410	
13	10	7	13	11	19	13	9	11	93	2	23	16	21	27	20	29	22	19	18	172	31	52	
12	5	3	13	7	20	13	7	11	79	0	23	16	14	27	23	35	27	12	27	181	40	16	
11	1	1	1	2	2	4	3	5	19	1	5	9	11	7	9	7	14	15	18	90	29	0	
10	3	0	6	8	6	7	5	8	43	0	11	5	3	17	18	17	23	21	26	130	32	333	
平均 本年度除く	5.6	4.9	8.5	7.2	10.7	9.1	6.6	8.2	60.9	2.4	14.6	11.0	11.5	17.9	14.8	23.9	20.1	17.6	19.1	135.9	30.0	79.1	
年	東 部		中 部		西 部		多南		延日数	全域 日数	日 数	東 部		中 部		西 部		多南		延日数	日数	被害者	
9	2		7		6		3		18	0	11	10		16		24		22		72	27	3	
8	0		4		5		2		11	0	6	2		9		10		3		24	11	0	
7	1		16		16		10		43	1	19	11		26		27		20		84	29	5	
6	4		10		8		6		28	3	12	14		23		31		20		88	38	183	
5	3		4		2		1		10	1	5	3		6		12		8		29	14	0	
4	3		12		11		7		33	3	14	11		27		28		17		83	33	0	
3	7		13		11		8		39	5	15	14		25		29		16		84	35	103	
2	3		14		21		6		44	0	23	11		28		41		24		104	43	4	
元	1		4		4		0		9	0	7	3		9		10		3		25	16	16	
昭和63	1		6		2		2		11	0	7	6		11		13		11		41	20	0	
62	10		14		7		4		35	3	15	16		25		29		12		82	36	4	
61	1		2		7		1		11	0	9	2		9		22		5		38	24	8	
60	4		15		17		9		45	4	19	10		42		55		39		146	58	13	
59	5		22		26		21		74	4	35	16		37		51		44		148	56	415	
58	3		6		19		11		49	1	24	8		34		44		24		110	50	35	
57	4		7		14		6		38	2	17	9		24		27		17		77	33	102	
56	2		8		9		7		28	0	14	5		21		19		10		55	24	36	
55	0		9		11		5		25	0	13	3		20		17		11		51	26	24	
54	1		9		12		5		27	0	12	2		16		15		12		45	23	64	
53	2		14		18		10		44	0	22	6		27		27		25		85	39	325	
52	2		11		17		11		41	0	21	8		35		41		32		116	51	30	
51	9		15		12		1		37	1	17	11		32		33		11		87	41	477	
50	14		38(1)		30		19		101(1)	6	41(1)	32		54		52		41		179	64	5,210	
49	13		20(1)		15		9		57(1)	2	26(1)	5		18		20		9		52	26	2,711	
48	24		42		27		17		110	11	45	1		10		6		0		17	12	4,035	
47	16		21		22		8		67	5	33											8,437	
46	22		都心 1		28		－		51	1	33											28,223	
45	0		都心 2		7(1)		－		9(1)	0	7(1)											10,064	

(注) 1 注意報の45、46年は3地域。また、45年は途中から制度発足
2 学校情報は昭和48年から制度発足。但し、48、49年は予報のないとき提供
(予報の有無に関わらず提供は49.9.1から)
3 ()は警報の日数
4 被害者の平均は、本年度と昭和45年を除く、他の平均は本年度を除く。

過去10年の平均	12
平 均	1,151

(2) 予報の月別発令日数

年 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	計	初回、最終発令日	
									初 回	最 終
平成28								0	—	—
27				6	2			8	7 月 12 日	8 月 2 日
26			2	3				5	6 月 1 日	7 月 26 日
25				6	5			11	7 月 9 日	8 月 12 日
24				2				2	7 月 26 日	7 月 27 日
23								0	—	—
22				3	2			5	7 月 21 日	8 月 31 日
21								0	—	—
20		1						1	5 月 23 日	5 月 23 日
19				1	4			5	7 月 27 日	8 月 26 日
18			1	2	4			7	6 月 29 日	8 月 6 日
17				2	1	4		7	7 月 15 日	9 月 19 日
16			1	3	2			6	6 月 24 日	8 月 13 日
15					1	1		2	8 月 22 日	9 月 3 日
14				2	4			6	7 月 30 日	8 月 7 日
13				1	1			2	7 月 24 日	8 月 1 日
12			3	2				5	6 月 16 日	7 月 19 日
11								0	—	—
10								0	—	—
9								0	—	—
8								0	—	—
7				1	1			2	7 月 25 日	8 月 9 日
6								0	—	—
5								0	—	—
4			1	8 (2)				9 (2)	6 月 3 日	7 月 29 日
3			3 (2)	6				9 (2)	6 月 11 日	7 月 31 日
2		1	1	5	4 (3)	1		12 (3)	5 月 23 日	9 月 11 日
元								0	—	—
昭和63					1			1	8 月 23 日	8 月 23 日
62			1 (1)					1 (1)	6 月 5 日	6 月 5 日
61			1					1	6 月 13 日	6 月 13 日
60		1	1	4	1			7	5 月 1 日	8 月 26 日
59		1 (1)		3 (2)	6 (3)			10 (6)	5 月 3 日	8 月 18 日
58			2	6	2	2		12	6 月 22 日	9 月 6 日
57		1	2	1	1			5	5 月 11 日	8 月 6 日
56		1	1	2	1			5	5 月 23 日	8 月 10 日
55		1	4	2	1			8	5 月 30 日	8 月 12 日
54			2	6	2			10	6 月 17 日	8 月 11 日
53		4		6	10			20	5 月 13 日	8 月 30 日
52		3	3	7	5			18	5 月 6 日	8 月 30 日
51	1	2	1	4	6	1		15	4 月 17 日	9 月 1 日
50		4	8	8 (1)	9 (1)	11	1	41 (2)	5 月 27 日	10 月 4 日
49	2	5 (2)	5	3	9 (2)	1		25 (4)	4 月 12 日	9 月 5 日
48	6	6	7 (1)	18 (12)	15 (6)	5		57 (19)	4 月 11 日	9 月 24 日
47	2	6 (3)	9 (3)	6 (5)	9 (9)	4 (1)	1	37 (21)	4 月 27 日	10 月 8 日
46			5 (5)	11 (11)	5 (5)	2 (2)		23 (23)		
45	—	—	—	—	4 (4)			4 (4)		
過去10年 平均	0.0	0.1	0.3	2.3	1.7	0.0	0.0	4.4		
平均	0.3	0.8	1.3	2.9	2.7	0.7	0.0	8.7		

(注) 1 () は前日予報で内書き

2 発令日は、昭和47年以降の当日予報

3 平均は本年を除く昭和47年以降及び過去10年の平均値

(3) 注意報（警報）の月別発令日数

年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	初回, 最終発令日		発令期間
									初 回	最 終	
平成28				4			1	5	7月1日	10月2日	94日
27		1	1	9	3			14	5月27日	8月7日	73日
26		1	2	5	1			9	5月31日	8月2日	64日
25				10	7			17	7月8日	8月30日	54日
24				3		1		4	7月25日	9月5日	43日
23			1	1	7			9	6月29日	8月13日	46日
22		1	2	8	5	4		20	5月5日	9月22日	141日
21		1	2	1	3			7	5月20日	8月29日	102日
20	1	1	1	8	5	3		19	4月30日	9月13日	137日
19		2	2	3	9	1		17	5月9日	9月22日	137日
18			3	5	8	1		17	6月1日	9月5日	97日
17			4	7	5	6		22	6月24日	9月19日	88日
16		1	3	9	4	1		18	5月30日	9月3日	97日
15					5	3		8	8月21日	9月6日	17日
14		1	4	7	7			19	5月30日	8月25日	87日
13		1	6	13	3			23	5月21日	8月25日	96日
12		1	4	10	6	2		23	5月24日	9月22日	121日
11		1	2			2		5	5月23日	9月28日	129日
10			3	5	3			11	6月18日	8月17日	61日
9			3	2	6			11	6月24日	8月28日	66日
8				6				6	7月3日	7月19日	17日
7				6	12	1		19	7月10日	9月11日	64日
6			2	4	5	1		12	6月3日	9月4日	94日
5			3	1	1			5	6月15日	8月1日	48日
4			1	12		1		14	6月3日	9月9日	99日
3			6	7	1	1		15	6月11日	9月12日	94日
2		2	3	9	6	3		23	5月13日	9月11日	122日
元		1	2	1	3			7	5月28日	8月10日	75日
昭和63		3		1	3			7	5月1日	8月23日	115日
62		2	2	6	5			15	5月9日	8月30日	114日
61		1	3	1	3	1		9	5月8日	9月7日	123日
60		4	2	8	4	1		19	5月1日	9月10日	133日
59		3	6	8	12	6		35	5月3日	9月30日	151日
58		3	4	5	7	5		24	5月14日	9月13日	123日
57		7	8	1	1			17	5月10日	8月5日	88日
56	1	1	1	8	2	1		14	4月23日	9月1日	132日
55		2	6	3	2			13	5月29日	8月11日	75日
54			4	5	3			12	6月10日	8月10日	62日
53		4	1	6	11			22	5月12日	8月30日	111日
52		4	2	11	4			21	5月6日	8月30日	117日
51	1	1	1	3	7	2	2	17	4月17日	10月8日	175日
50	2	3	7	6 (1)	11	11	1	41	4月9日	10月4日	179日
49	3	5 (1)	6	2	9		1	26	4月11日	10月4日	177日
48	4	4	4	16	13	4		45	4月11日	9月24日	167日
47	2	6	5	5	10	3	2	33	4月27日	10月8日	165日
46		3	9	8	9	3	1	33	5月17日	10月17日	154日
45	—	—	—	5 (1)	1	1		7	—	—	— 日
過去10年 平均	0.1	0.7	1.4	5.3	4.8	1.0	0.0	13.3	—	—	90.9 日
平均	0.3	1.6	2.9	5.7	5.1	1.5	0.2	17.3	—	—	102.9 日

(注) 1 () は警報で外書き

2 昭和45年は7月26日以前（制度発足前）の準警報1日及び準注意報4日を含む。

3 平均は本年を除く昭和46年以降及び過去10年の平均値

(4) 注意報の地域別・月別発令日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合 計
平成 28 年	区 東 部				2				2
	区 北 部				1				1
	区 西 部				1			1	2
	区 南 部							1	1
	多摩北部				2			1	3
	多摩中部				3				3
	多摩西部								
	多摩南部				2				2
	計				11			3	14
平成 27 年	区 東 部				2				2
	区 北 部				2	1			3
	区 西 部		1		7	3			11
	区 南 部				5	2			7
	多摩北部		1	1	7	2			11
	多摩中部		1		5	2			8
	多摩西部		1		2	1			4
	多摩南部		1		2	1			4
	計		5	1	32	12			50
平成 26 年	区 東 部			1	1				2
	区 北 部			1	1				2
	区 西 部			1	1	1			3
	区 南 部			2	1	1			4
	多摩北部		1	2	4	1			8
	多摩中部			1	3	1			5
	多摩西部			1	4				5
	多摩南部			1	3				4
	計		1	10	18	4			33
平成 25 年	区 東 部				3	2			5
	区 北 部				3	2			5
	区 西 部				4	4			8
	区 南 部				4	3			7
	多摩北部				7	5			12
	多摩中部				7	4			11
	多摩西部				5	3			8
	多摩南部				7	2			9
	計				40	25			65

(5) 警報の発令状況

年	発令日	発令時間	最高濃度及び測定点名
昭和50年	7月15日	12時10分～13時20分	0.25ppm 練馬区石神井台
昭和49年	5月18日	14時10分～15時20分	0.26ppm 調布市深大寺南

(6) 学校情報の月別提供日数

月 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	初回、最終発令	
									初 回	最 終
平成28		2	1	8	2	1	1	15	5月 23日	10月 2日
27		5	3	11	6			25	5月 2日	8月 15日
26		2	5	14	7			28	5月 20日	8月 22日
25		1	1	12	13	1		28	5月 10日	9月 12日
24	1		1	8	2	4		16	4月 29日	9月 13日
23		1	4	3	10	1		19	5月 20日	9月 8日
22	1	5	7	9	9	7		38	4月 11日	9月 22日
21	1	5	6	2	5	1		20	4月 11日	9月 8日
20	1	4	4	11	10	4		34	4月 30日	9月 17日
19	1	3	5	7	13	1		30	4月 30日	9月 22日
18		2	6	8	12	2		30	5月 21日	9月 5日
17	1	3	8	10	10	7	1	40	4月 29日	10月 2日
16	1	2	6	13	5	6		33	4月 12日	9月 17日
15	1	3	7	2	8	4		25	4月 18日	9月 9日
14		6	8	9	8	3	3	37	5月 14日	10月 6日
13	1	3	9	13	5			31	4月 20日	8月 28日
12		3	6	15	12	4		40	5月 9日	9月 22日
11		6	7	3	4	6	3	29	5月 2日	10月 14日
10	2	4	6	7	11	2		32	4月 20日	9月 13日
9		2	4	8	13			27	5月 5日	8月 31日
8		2	2	7				11	5月 25日	7月 19日
7		1	1	9	16	2		29	5月 10日	9月 11日
6		3	7	10	12	6		38	5月 14日	9月 20日
5		6	5	1	2			14	5月 13日	8月 28日
4	2		5	19	3	4		33	4月 27日	9月 16日
3	1	1	10	13	5	5		35	4月 17日	9月 12日
2		5	8	12	12	6		43	5月 13日	9月 24日
元		2	3	4	4	3		16	5月 24日	9月 15日
昭和63	1	7	4	4	4			20	4月 20日	8月 23日
62	4	6	8	10	7	1		36	4月 16日	9月 14日
61	1	2	9	3	6	3		24	4月 30日	9月 13日
60	6	11	9	15	11	6		58	4月 9日	9月 20日
59	1	9	7	13	18	8		56	4月 28日	9月 30日
58	4	7	9	11	12	7		50	4月 24日	9月 17日
57		9	11	6	5	1	1	33	5月 8日	10月 14日
56	1	3	2	11	5	2		24	4月 23日	9月 23日
55		2	7	4	8	4	1	26	5月 29日	10月 8日
54		4	4	9	6			23	5月 21日	8月 23日
53		5	3	10	17	2	2	39	5月 12日	10月 4日
52	1	6	8	17	9	4	6	51	4月 23日	10月 31日
51	3	6	4	6	13	4	5	41	4月 17日	10月 23日
50	2	6	12	13	15	14	2	64	4月 9日	10月 9日
過去10年 平均	0.5	2.8	4.2	8.5	8.7	2.1	0.0	26.8		
平 均	0.9	4.0	5.9	9.1	8.8	3.3	0.6	32.6		

(注) 平均は本年を除く過去10年間及び昭和50年以降の平均値

(7) 学校情報の地域別・月別提供日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
平成28年	区東部			1	4				5
	区北部			1	4				5
	区西部				5			1	6
	区南部			1	3	1		1	6
	多摩北部		2		6	2		1	11
	多摩中部		2		4	1		1	8
	多摩西部		1		4				5
	多摩南部		2		5	1	1		9
	計		7	3	35	5	1	4	55
平成27年	区東部		2	2	7	2			13
	区北部		2	2	8	3			15
	区西部		4	1	8	5			18
	区南部		1	1	9	3			14
	多摩北部		5	3	9	5			22
	多摩中部		5	2	9	3			19
	多摩西部		4	1	8	3			16
	多摩南部		3	2	7	3			15
	計		26	14	65	27			132
平成26年	区東部		1	2	4	1			8
	区北部		1	1	4	2			8
	区西部		1	2	7	1			11
	区南部		1	2	3	1			7
	多摩北部		2	5	13	6			26
	多摩中部		1	5	11	1			18
	多摩西部		1	4	10	3			18
	多摩南部		1	5	7	1			14
	計		9	26	59	16			110
平成25年	区東部		1		5	4			10
	区北部				5	3			8
	区西部		1		10	5			16
	区南部		1		8	6			15
	多摩北部			1	11	11	1		24
	多摩中部				12	9			21
	多摩西部				7	7	1		15
	多摩南部				12	8	1		21
	計		3	1	70	53	3		130

(8) 光化学スモッグ注意報の連続発令期間

年	9日間	8日間	7日間	6日間	5日間	4日間	3日間
平成28							
27						7/30～8/2	7/10～7/12
							7/25～7/27
26							5/31～6/2
							7/23～7/25
25			7/8～7/14		8/8～8/12		
24							7/25～7/27
23			8/7～8/13				
22				7/20～7/25			8/29～8/31
21							
20							7/12～7/14
19						8/25～8/28	
18					8/2～8/6		7/13～7/15
17						7/15～7/18	6/24～6/26
16						7/15～7/18	8/12～8/14
15						8/21～8/24	
14						7/30～8/2	
						8/4～8/7	
13							6/26～6/28
							7/23～7/25
12						7/16～7/19	6/18～6/20
11							
10							7/7～7/9
9							
8						7/12～7/15	
7				7/31～8/5		8/7～8/10	7/24～7/26
6							
5							
4					7/19～7/23	7/26～7/29	
3						6/25～6/28	7/23～7/25
2							
元							8/8～8/10
昭和63							8/21～8/23
62							7/25～7/27
61							
60							7/23～7/25
							8/23～8/25
59					7/2～7/6		8/17～8/19
					8/6～8/10		
58						7/26～7/29	
						9/2～9/5	
57				6/8～6/13			5/27～5/29
56					7/15～7/19		
55							
54							7/29～7/31
53						8/10～8/13	
						8/27～8/30	
52							7/4～7/6
							7/14～7/16
51							
50				8/27～9/1	8/11～8/15	9/10～9/13	5/28～5/30
49						8/3～8/6	5/17～5/19
48	8/4～8/12		7/4～7/10				
			7/13～7/19				
47		7/29～8/5					5/10～5/12
46						7/16～7/19	8/8～8/10

(9) オキシダント最高濃度の経年変化

年	月日	時刻	基準測定点	濃度 ppm	気 象 要 素					
					風向	風速 m/s	天気	日照 h	最高気温 ℃	逆転層高度 m
平成28	7/1	16	中央区晴海	0.155	SSE	3.9	薄曇	4.4	30.6	なし
27	7/26	15	練馬区石神井町	0.193	SSE	4.1	晴	12.4	35.1	なし
26	6/1	16	練馬区北町	0.173	SSE	3.3	晴	13.1	33.1	500～700
		15	渋谷区宇田川町		SSE	4.2	晴			
25	8/10	17	武蔵野市関町	0.197	SSE	3.3	晴	10.0	37.0	なし
		16	小金井市本町		SSE	2.2	晴			
24	7/26	16	荒川区南千住	0.188	SSE	4.6	晴	8.9	35.4	500～600
23	6/29	15	八王子市館町	0.149	SSE	5.2	晴	11.5	35.1	400～500
22	7/24	15	練馬区北町	0.215	SSE	3.8	晴	11.9	34.1	665～805
21	7/16	17	小金井市本町	0.173	SSE	6.1	晴	9.8	34.2	600～700
20	8/8	15	清瀬市上清戸	0.173	SSE	2.9	晴	9.8	35.3	600～700
19	8/11	15	八王子市館町	0.193	SSE	1.0	晴	11.9	36.4	425～810
18	7/14	13	品川区豊町	0.210	ESE	2.1	薄曇	5.5	35.0	305～480
17	9/1	17	青梅市東青梅 福生市本町	0.204	SE	3.6	晴	11.3	31.3	なし
16	7/15	13	江戸川区南葛西	0.220	ESE	1.8	晴	9.3	34.8	315～495
15	8/24	15	練馬区石神井台	0.204	S	2.8	晴	10.8	34.3	500～1000
14	8/6	15	中野区若宮	0.242	S	3.0	晴	11.6	35.7	600～700
13	7/ 1	12	大田区東糞谷	0.271	NW	4.2	薄曇	11.7	36.6	300～600
12	8/27	14	世田谷区世田谷	0.202	ESE	1.6	晴	7.1	34.0	955～1110
11	5/23	15	田無市本町	0.173	SSE	3.1	晴	11.0	28.3	310～445
10	7/ 4	13	江東区大島	0.235	SE	2.6	晴	11.9	36.1	450～590
9	8/21	16	文京区本駒込	0.168	ESE	3.6	晴	5.4	33.4	220～400
8	7/14	13	狛江市中和泉	0.219	S	3.8	晴	10.5	31.8	300～420
7	8/20	13	練馬区石神井台	0.210	S	3.3	快晴	10.7	35.1	1230～1450
6	7/ 5	15	品川区豊町	0.216	SSW	4.4	晴	12.0	35.3	300～600
5	6/27	14	品川区豊町	0.174	SE	2.3	晴	8.6	29.2	300～950
4	7/27	16	狛江市中和泉	0.186	SE	2.2	薄曇	8.9	34.7	なし
3	7/23	15	練馬区石神井台	0.247	S	4.8	晴	10.5	33.7	600～900
2	6/22	15	中野区若宮	0.200	S	2.9	晴	10.9	34.1	460～740
元	8/10	15	狛江市中和泉	0.144	SSW	3.0	晴	8.0	33.5	なし
昭和 63	8/22	15	多摩市愛宕	0.184	S	4.5	快晴	7.6	32.9	540～700
62	7/29	15	葛飾区立石	0.244	S	4.9	晴	10.9	35.6	460～750
61	8/26	16	青梅市東青梅	0.174	S	4.4	快晴	7.0	31.4	800～1300
60	5/23	15	調布市深大寺南	0.185	S	4.5	薄曇	10.0	25.1	780～960
59	7/ 5	14	練馬区石神井台	0.209	W	1.2	快晴	8.1	33.6	なし
58	7/29	16	小金井市本町	0.175	S	7.3	晴	9.4	30.1	300～500
57	6/ 5	15	武蔵野市関町	0.208	SSE	3.2	晴	6.3	25.8	760～960
56	6/29	15	小金井市本町	0.175	N	5.2	快晴	6.5	32.0	200～760
55	5/29	15	多摩市愛宕	0.170	SSE	2.6	薄曇	10.4	29.5	320～1140
54	7/30	14	田無市本町	0.180	S	3.9	快晴	7.5	32.4	なし
53	8/28	14	多摩市愛宕	0.180	S	1.9	快晴	9.8	35.0	なし
		14	調布市深大寺南	0.180	S	3.3	快晴	9.6	32.0	なし
		15	武蔵野市関町							
		15	田無市本町							
52	8/ 3	15	小平市小川町	0.220	SSE	1.5	晴	10.3	34.0	400～700
51	8/13	13	目黒区碑文谷	0.220	SE	1.7	晴	8.2	32.2	550～770
		14	中野区若宮							
50	7/15	13	練馬区石神井台	0.250	S	1.7	晴	9.6	31.3	250～600
49	5/18	14	調布市深大寺南	0.260	SSE	3.0	晴	11.4	29.5	200～300
48	8/ 9	14	小平市小川町	0.220	SSE	2.3	快晴	7.7	30.7	400～850
		13	国設東京		SSE	4.3	晴	9.2	33.6	200～700
		15	中野区若宮		S	4.2	晴	6.4	34.2	300～850
47	8/31	13	世田谷区世田谷	0.220	SE	2.2	快晴	10.0	32.1	450～600
46	6/28	14	八王子市明神町	0.230	ESE	2.5	晴	5.1	30.7	400～1000

- (注) 1 気象データは気象庁東京管区気象台のデータ。平成2年までの風向風速は15時、平成3年以降は高濃度出現時刻。逆転層は館野高層気象台9時のデータ
- 2 昭和52年8月3日以前のオキシダント濃度は、現行の測定法（昭和53年4月1日）による測定値に換算した値

(10) オキシダント濃度0.12ppm以上の測定点別延べ時間数

	年 測定点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
																時間	最高濃度
東部	千代田区神田司町	15	5	17	8	2	7	1		15		1	10	2	2	2	0.125
	中央区晴海	21	6	24	11	17	2	1	1	16		1	8	3	5	2	0.155
	港区高輪	22	5	17	7	3	15	7	4	-			16	8	7	1	0.127
	港区台場	14	1	15	5	7	4	4		11			9	1	4	0	0.106
	江東区大島	19	4	21	7	13	5	2		17	1	5	6		3	0	0.118
	江戸川区鹿骨	25	10	27	11	14	10	4		22	1	6	9	1	3	1	0.120
	江戸川区春江町	32	12	28	9	20	14	9	1	19	2	7	9	2	3	1	0.128
	江戸川区南葛西	20	6	18	8	16	7	6	2	14		3	9	1	6	3	0.123
北部	荒川区南千住	38	18	35	23	22	14	1		34	7	7	4	5	7	1	0.126
	足立区西新井	32	20	36	26	3	11	3	1	31	1	7	11	8	8	2	0.128
	葛飾区鎌倉	34	15	33	19	19	9	1		29	1	8	9	5	4	0	0.115
西部	国設東京(新宿)	1	2	3		6	9	4	1	14			9	5	7	1	0.122
	文京区本駒込	31	11	22	17	-	-	-		7		1	1			0	0.109
	中野区若宮	48	20	44	38	19	26	13	7	33	3	8	20	10	17	3	0.129
	杉並区久我山	25	17	21	20	8	13	10	6	23	3	4	20	6	12	1	0.134
	板橋区氷川町	29	13	39	31	12	11	5	3	16	7	6	11	9	17	1	0.120
	練馬区石神井町	41	21	34	34	29	32	13	6	25	7	7	23	10	19	3	0.147
	練馬区北町	50	24	34	38	16	25	6	9	28	6	9	7	10	22	2	0.123
南部	品川区豊町	27	10	24	21	19	28	15	2	21	2	5	12	8	13	0	0.114
	品川区八潮	21	8	27	12	11	15	13	1	12	1	2	10	7	6	0	0.110
	目黒区碑文谷	21	17	18	17	18	13	12	2	26		2	19	7	12	2	0.154
	大田区東糀谷	16	5	17	15	11	16	10	2	13			14	7	9	2	0.144
	世田谷区世田谷	35	21	35	12	18	20	18	5	28	1	4	31	10	17	3	0.152
	渋谷区宇田川町	28	13	22	20	9	14	8	3	21	1	4	14	9	12	1	0.130
多摩北部	武蔵野市関前	46	20	29	31	32	41	8	14	37	1	5	30	22	23	3	0.132
	小平市小川町	57	20	40	47	47	23	29	13	37	4	6	26	20	17	3	0.145
	東大和市奈良橋	59	15	32	32	39	26	15	13	29	4	6	27	18	14	3	0.135
	清瀬市上清戸	50	14	31	28	26	8	22	10	34		7	20	12	13	3	0.134
	西東京市田無町	53	25	33	32	42	42	24	19	34	2	4	30	20	23	4	0.134
多摩中部	立川市泉町	49	10	24	26	40	17	10	11	26	3	1	16	13	7	0	0.109
	府中市宮西町	36	11	22	28	18	32	18	10	27	5	3	30	21	15	2	0.132
	調布市深大寺南	33	12	17	16	16	5	9	6	25	1	3	25	6	13	2	0.131
	小金井市本町	45	16	23	34	31	14	17	13	28	3	3	36	19	20	4	0.149
	狛江市中和泉	49	15	26	27	31	15	19	8	28	4	4	31	12	19	7	0.151
西部	青梅市東青梅	78	24	25	44	36	9	5	5	17	3	3	21	20	9	0	0.115
	福生市本町	54	25	31	35	12	13	11	13	22	7	6	25	18	8	0	0.119
多摩南部	八王子市片倉	19	3	9	15	20	13	24	8	9	2		12	13	5	3	0.127
	八王子市館町	48	16	34	17	8	34	14	4	7	5	1	22	5	11	3	0.125
	町田市金森	27	6	17	20	28	33	22	8	27	9	1	34	19	12	5	0.149
	町田市能ヶ谷	33	11	18	22	26	41	22	9	31	6	2	31	15	12	3	0.146
	多摩市愛宕	39	14	17	29	10	9	13	8	29	6	3	23	14	10	3	0.131
合 計		1420	541	1039	892	774	695	452	229	922	109	155	730	401	446	80	
0.12ppm以上の日数		33	20	23	28	19	22	21	10	24	12	8	21	14	16	6	

(注) 1 空欄は0時間 -は未測定

2 最高濃度の最高値は太字

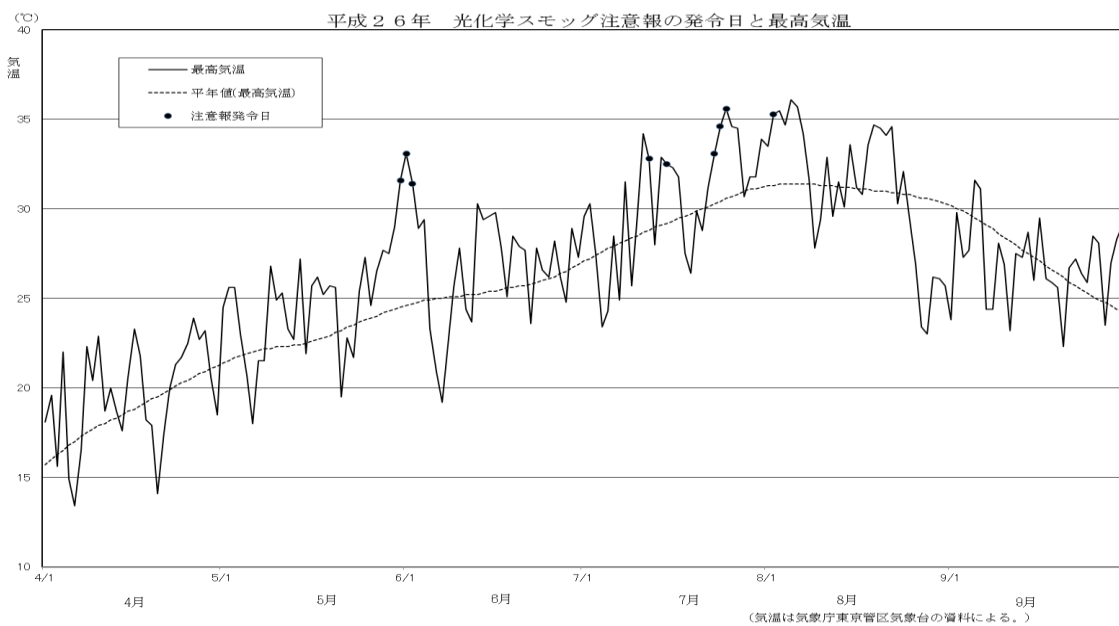
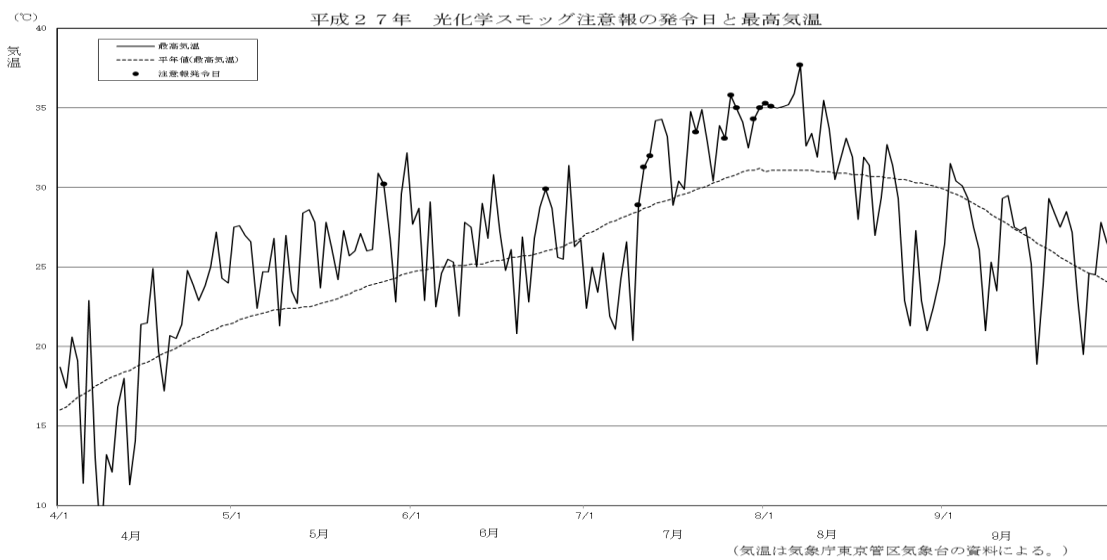
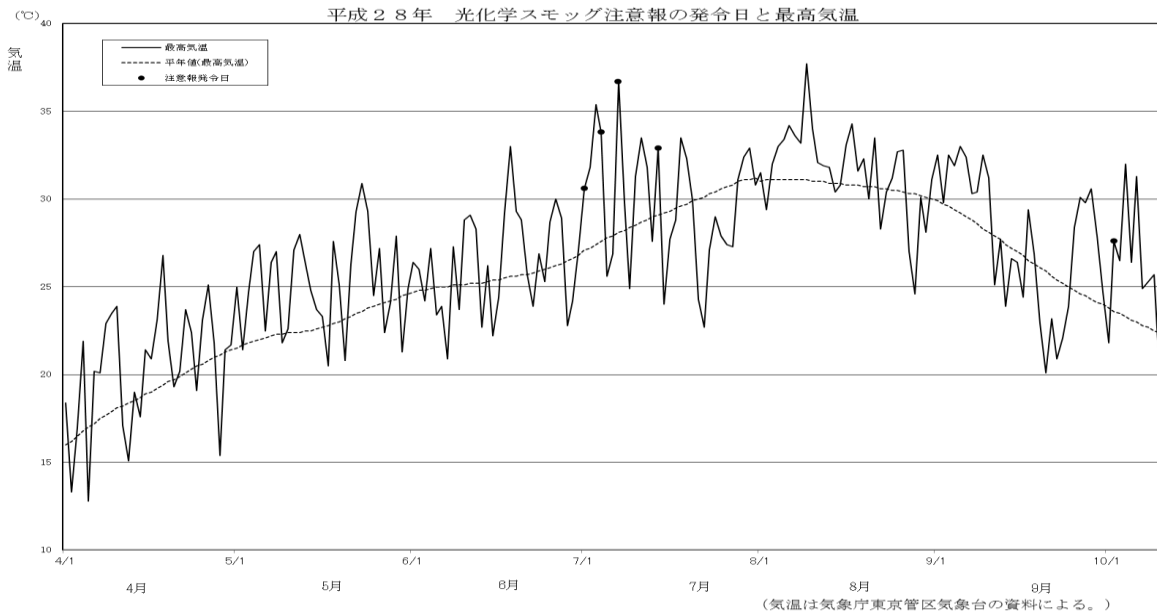
(11) 光化学スモッグによると思われる被害届出数(年別・発令地域別)

(人)

年		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
区市町村																
東部	千代田区															
	中央区															
	港区		1													
	江東区															
北部	江戸川区			90												
	台東区															
	墨田区															
	荒川区					2										
西部	足立区	137		1												
	葛飾区	16														
	新宿区			6												
	文京区															
南部	中野区			21												
	杉並区			16	2								2			
	豊島区															
	北区	56		2												
多摩部	板橋区															
	練馬区			10	6											
	品川区															
	目黒区															
摩北	大田区															
	世田谷区			1												
	渋谷区															
	武蔵野市	14		4	2											
摩中	小平市	3	11		46											
	東村山市															
	西東京市	52														
	東大和市															
摩西	清瀬市			8												
	東久留米市															
	武蔵村山市															
	立川市	55														
多摩部	三鷹市	1														
	府中市															
	昭島市															
	調布市															
摩南	小金井市															
	国分寺市															
	国立市									12						
	狛江市															
西部	青梅市															
	福生市															
	羽村市															
	あきる野市															
多摩部	瑞穂町															
	日の出町															
	奥多摩町															
	檜原村															
摩南	八王子市				191			94		6						
	町田市	36														
	日野市	25														
	多摩市															
合計	稲城市	15														
	合計	410	12	159	247	2	0	94	0	18	0	0	2	0	0	0

(注) 福祉保健局調べ

(12) 光化学スモッグ注意報の発令日と最高気温



(13) 光化学スモッグによると思われる被害届出状況

年 平成	被害 者計	被 害 届 出 内 容					オキシダント濃度		
		月日	被害場所	人数	職業等	被害場所・症状	地域	ppm	最寄りの測定局
28	0								
27	0								
26	0								
25	2	7/10	杉並区	2	高校生	校庭クラブ活動中、喉の痛み、せき、息苦しさ	区西部	0.141	杉並区久我山
24	0								
23	0								
22	18	9/11	国立市	12	中学生	運動場クラブ活動後 目・喉の痛み、せき、息苦しさ 熱っぽい	多摩中部	0.127	立川市泉町
		7/21	八王子市	6	中学生	校庭・体育館クラブ活動中 せき、息苦しさ	多摩南部	0.123	八王子市片倉町
21	0								
20	94	9/13	八王子市	94	中学生 93 教員 1	校庭・体育館クラブ活動中 せき、息苦しさ 喉の痛み、目の痛み	多摩南部	0.168	八王子市片倉町
19	0								
18	2	7/14	荒川区	2	高校生	校庭部活動中 息苦しさ、せき、頭痛、熱、倦怠感	区北部	0.154	荒川区南千住
17	247	9/2	杉並区	2	中学生	教室 眼のチカチカ、目の痛み、頭痛	区西部	0.179	杉並区久我山
			練馬区	1	中学生	校庭クラブ活動中 喉の痛み、息苦しさ、せき		0.191	練馬区石神井台
			武蔵野市	2	幼稚園児	屋外 眼のチカチカ、せき、息苦しさ	多摩北部	0.201	武蔵野市関前
			小平市	46	小学生	プール 目の痛み、喉の痛み、せき、息苦しさ		0.198	小平市小川町
			八王子市	4	中学生	教室 眼のチカチカ、目の痛み、喉の痛み	多摩南部	0.166	八王子市片倉町
		9/1	八王子市	145	高校生	校庭クラブ活動中 目の痛み、喉の痛み、息苦しさ	多摩南部	0.19	八王子市片倉町
				42	中学生	校庭クラブ活動中 喉の痛み、せき、目の痛み			
		7/15	練馬区	5	小学生	校庭 目のチカチカ、喉の痛み、せき、頭痛、息苦しさ	区西部	0.18	中野区若宮
		7/16	中野区	21	小学生	プール 目のチカチカ、喉の痛み、せき、頭痛	区西部	0.132	中野区若宮
		7/15	江戸川区	90	小学生	プール 目の痛み、喉の痛み、息苦しさ	区東部	0.22	江戸川区南葛西
16	159		新宿区	6	中学生	部活 目の痛み、喉の痛み、息苦しさ	区西部	0.102	国設東京新宿
		7/13	清瀬市	8	小学生、職員	運動場 喉の痛み、頭痛、目のチカチカ	多摩北部	0.166	清瀬市上清戸
		7/7	練馬区	10	高校生	放課後 目の痛み、息苦しさ、倦怠感	区西部	0.17	練馬区石神井台
			足立区	1	保育園児	帰宅後 目の痛み、喉の痛み、発熱	区北部	0.162	足立区西新井
		6/24	北区	2	中学生	屋外体育後 喉の痛み、息苦しさ	区西部	0.158	板橋区氷川
			杉並区	16	小学生	屋上授業中 目の痛み、頭痛、吐き気	区西部	0.133	杉並区久我山
			世田谷区	1	小学生	教室 眼のチカチカ	区南部	0.131	世田谷区世田谷
			武蔵野市	4	小学生	屋外 眼のチカチカ	多摩北部	0.14	武蔵野市関前
		9/3	小平市	11	小学生	プール 喉・目の痛み、せき、息苦しい、頭痛	多摩北部	0.128	小平市小川町
		8/22	港区	1	成人女性	自宅窓開放 喉の痛み、吐き気、眼のチカチカ	区東部	0.093	港区白金
14	410	8/6	足立区	20	高校生	運動場 喉の痛み、息苦しい、熱っぽい	区北部	0.181	荒川区南千住
			武蔵野市	1	小学生	プール 喉の痛み	多摩北部	0.162	武蔵野市関前
		8/ 5	稲城市	4	中学生	テニスコート 喉の痛み、せき、息苦しい	多摩南部	0.153	府中市宮西町
		7/12	葛飾区	12	小学生	教室・体育館・プール 眼・喉が痛い、眼のチカチカ	区北部	0.113	葛飾区鎌倉
		7/4	葛飾区	4	中学生	運動場 喉・目の痛み、せき、涙	区北部	0.196	葛飾区鎌倉
			足立区	117	小学生	プール・運動場 喉の痛み、せき、息苦しい	区北部	0.165	足立区西新井
			北区	56	中学生	運動場 喉・目のいたみ、せき、息苦しい	区西部	0.171	板橋区氷川
			西東京市	52	小学生	プール・運動場 喉・目の痛み、せき、息苦しさ	多摩北部	0.211	西東京市田無町
			小平市	3	小学生	運動場 喉の痛み息苦しさ	多摩北部	0.207	小平市小川町
			武蔵野市	13	小学生	運動場 喉の痛み	多摩北部	0.175	杉並区久我山
			三鷹市	1	成人女性	自宅ベランダ 喉の痛み	多摩中部	0.176	武蔵野市関前
			立川市	55	小学生	プール 喉の痛み、せき、息苦しさ	多摩中部	0.199	立川市錦町
			稲城市	11	中学生	運動場 喉・目の痛み、せき、手のしびれ	多摩南部	0.182	町田市能ヶ谷
			日野市	25	小学生	プール 喉の痛み、せき、吐き気	多摩南部	0.199	立川市錦町
13	52	6/4	国立市	3	高校生	屋内剣道場 喉・目の痛み、頭痛、吐き気	多摩中部	0.122	立川市錦町
			町田市	20	中学生	運動場 せき、息苦しい	多摩南部	0.106	町田市能ヶ谷町
		6/26	三鷹市	29	小学生	プール せき、喉の痛み	多摩中部	0.153	調布市深大寺南
12	16	6/16	葛飾区	12	小学生	プール、教室 喉・目の痛み、せき、息苦しい	区北部	0.112	葛飾区鎌倉
		8/22	武蔵野市	1	学生	路上 息苦しい、吐き気、耳鳴り	多摩北部	0.148	武蔵野市関前
			三鷹市	2	画家他	車中・自宅 目の痛み・涙・チカチカ、喉の痛み	多摩中部	0.132	小金井市本町
		9/22	三鷹市	1	自営業	自宅 目の痛み・チカチカ、喉の痛み、頭痛	多摩中部	0.148	小金井市本町

(注) 1 被害者は福祉保健局調べ

2 オキシダント濃度は、被害が発生した場所の最寄りの測定局の濃度（発生時刻）

(14) 東京都及び近県における光化学スモッグ発令状況及び被害状況

(単位：日 但し被害届は人)

		平成28年								平成27年								平成26年							
		4	5	6	7	8	9	10	計	4	5	6	7	8	9	10	計	4	5	6	7	8	9	10	計
予 報	東京												6	2			8			2	3				5
	神奈川												6	2			8			3	4				7
	千葉																								
	埼玉			1					1				7	4			11			2	3	3			8
	群馬																								
	栃木																								
	茨城			1					1				2	3			5			1	2	5			8
	山梨																								
注 意 報	東京				4			1	5		1	1	9	3			14		1	2	5	1			9
	神奈川				4	1	1		6		1	1	6	2			10			3	5	1			9
	千葉			1	1				2		1	2	7	5			15		1	2	5	4			12
	埼玉				1				1		2		9	5			16			3	7	3			13
	群馬		1	1					2		2		3	4			9		1	3	3	3			10
	栃木		1		1	1			3				2				2			1	2	2			5
	茨城												2				2			1	4	4			9
	山梨				1				1		1						1			2	4				6
被 害 届	東京																								
	神奈川																								
	千葉												2				2								
	埼玉																								
	群馬																								
	栃木		19						19												26				26
	茨城																								
	山梨																								

(注) 空欄は0を示す。

3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等

(1) 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）

（目的）

第1 この要綱は、大気汚染防止法（昭和43年法律第97号。以下「法」という。）第23条及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号。以下「条例」という。）第146条から第148条の規定に基づき、オキシダントに係る緊急時（以下「緊急時」という。）における知事の措置並びにその他関連する必要な事項を定めることを目的とする。

（測定方法及び測定場所）

第2 緊急時に係るオキシダントの大気中における含有率は、大気汚染防止法施行規則（昭和46年厚生省・通商産業省令第1号）第18条に規定する測定方法により測定するものとし、別表1に掲げる測定場所（以下「基準測定点」という。）で行う。

（監視）

第3 緊急時に係る大気汚染状況の監視は、基準測定点における測定結果について毎時行う。

（気象情報等の収集）

第4 緊急時に係る必要な気象情報等は、基準測定点、立体測定局（東京タワー）、気象庁及び関係県から収集する。

（緊急時の区分）

第5 緊急時は、光化学スモッグ予報、光化学スモッグ注意報、光化学スモッグ警報及び光化学スモッグ重大緊急報に区分し、その状況に応じ、発令及び解除を行う。

（緊急時の発令及び解除の基準）

第6 緊急時の発令及び解除は、別表2に定める基準により行う。

ただし、日の入後の緊急時の発令措置は行わない。また、日の入時刻を過ぎれば緊急時の措置を解除することができる。

（緊急時の地域及び基準測定点）

第7 緊急時の発令及び解除は、別表3に掲げる発令地域ごとに、基準測定点の測定結果に基づき行う。

（緊急時の発令及び解除の決定）

第8 発令及び解除の決定は、光化学スモッグ予報及び光化学スモッグ注意報については、環境改善部大気保全課長又は大気保全課長があらかじめ指定した環境改善部課長級職員が行い、光化学スモッグ警報及び光化学スモッグ重大緊急報については、環境改善部長が行う。

（協力工場等）

第9 緊急時において、燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む。以下同じ。）を行う工場・

事業場（以下「燃料削減協力工場等」という。）は、原則として施設定格能力合計1時間当たり1kl以上（重油換算）の工場又は事業場とし、揮発性有機化合物の排出を抑制する工場・事業場（以下「VOC抑制協力工場等」という。）は大気汚染防止法第17条の4揮発性有機化合物排出施設の設置の届出をしている工場又は事業場とする。

（緊急時の措置）

第10 緊急時においては、図1に掲げる手法により、図1に掲げる機関を通じて情報の周知を行うとともに、次の各号に掲げる措置を行う。

（1） 都民に対する注意事項

光化学スモッグ注意報以上の緊急時においては、次の事項について都民に注意するよう周知する。

- ① 屋外になるべく出ないようにする。
- ② 屋外運動はさしひかえるようにする。
- ③ 光化学スモッグの被害を受けた人は、最寄りの保健所に連絡する。

（2） 光化学スモッグ予報時における協力等

光化学スモッグ予報を発令したときは、別表4の協力地域内の燃料削減協力工場等に対し、燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む。以下同じ。）により、ばい煙の排出量を減少するよう自主的協力を求め、自動車等を使用する者に対し、不要不急の目的により自動車等を使用しないよう協力を求める。

（3） 光化学スモッグ注意報時における勧告等

光化学スモッグ注意報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対して、ばい煙の排出量の減少を図るため、燃料使用量を通常使用量の20パーセント程度削減するよう勧告するとともに、VOC抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出を抑制するよう自主的協力を求め、自動車等を使用する者に対し、当該地域を通過しないよう協力を求める。

（4） 光化学スモッグ警報時における勧告等

光化学スモッグ警報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対して、ばい煙の排出量の減少を図るため、燃料使用量を通常の使用量の40パーセント程度削減するよう勧告するとともに、VOC抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出量を削減するよう施設等の使用の制限を勧告し、自動車等を使用する者に対し、当該地域を通過しないよう協力を求める。

（5） 光化学スモッグ重大緊急報時における命令等

光化学スモッグ重大緊急報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対し、ばい煙の排出量の減少を図るため、燃料使用量を通常使用量の40パーセント以上削減するよう命令するとともに、VOC抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出量を削減するよう施設等の使用の制限を命令する。なお、自動車等を使用する者に対しては、東京都公安委員会に道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請する。

（削減計画及び削減報告）

第11 第10の規定による措置を行うに当たっては、燃料削減協力工場等に対して燃料使用量の削減計画を、VOC抑制協力工場等に対しては揮発性有機化合物の排出を抑制する措置方法の提出を求める。また、緊急時の発令日毎に、協力地域内の燃料削減協力工場等が実施した燃料使用量の削減等について、VOC抑制協力工場等が実施した揮発性有機化合物の排出の抑制措置等についてファクシミリ等により措置状況の報告を求める。

（光化学スモッグ学校情報）

第12 児童、生徒の被害を未然に防止するため、関係区市町村等に対して次に掲げる基準により、光化学スモッグ学校情報を提供する。

（1）提供基準

基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.1以上である状態になり、気象条件からみてその状態が継続又は悪化すると認められるとき。

（2）解除基準

上記の情報提供後基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.1未満になることが気象条件から見て明らかであるとき。

（情報の周知及び提供方法）

第13 第10及び第12に定めるもののほか、インターネット（携帯電話）、電子メール、テレホンサービス及びファクシミリ等の電気通信設備により情報の周知及び提供を行う。

（被害発生時の調査）

第14 被害の発生時、必要な場合においては、発生地域周辺の状況調査を行う。

（区市等への協力要請）

第15 第10に規定する緊急時の措置等を行うに当たっては、関係区市町村等に対し、必要な協力を求める。

（国及び関係県との相互協力）

第16 この要綱の実施に当たっては、国及び関係県と連絡を緊密にして、適正な運用を図る。

附 則

この要綱は、昭和47年4月15日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和47年8月28日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和48年4月2日から実施する。ただし、基準測定点のうち、渋谷、中野、府中、調布及び小平については、昭和48年6月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年9月9日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年11月5日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年12月5日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和50年9月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和51年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和51年6月14日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和53年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和56年3月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和59年11月15日から実施する。

附 則

この要綱は、平成4年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成5年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成7年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から実施する。

ただし、都からの情報を受けて各区市町村が実情に応じて行う大気汚染緊急時の周知（光化学スモッグ学校情報を含む。）については、平成14年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成16年9月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年12月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から実施する。

別表1 基準測定点

名 称	場 所	所 在 地
千代田区神田司町	千代田区神田公園出張所	千代田区神田司町2-2
中央区晴海	都有地	中央区晴海3-6-1
港区高輪	都有地	港区高輪1-6
港区台場	港区立お台場レインボー公園内	港区台場1-3-1
国設東京新宿	新宿御苑	新宿区内藤町1-1
文京区本駒込	文京区勤労福祉会館	文京区本駒込4-35-15
江東区大島	東京都江東合同庁舎	江東区大島3-1-3
品川区豊町	品川区立戸越小学校	品川区豊町2-1-20
品川区八潮	品川区立小中一貫校八潮学園	品川区八潮5-11-2
目黒区碑文谷	目黒区立第八中学校	目黒区碑文谷4-19-25
大田区東糀谷	大田区糀谷・羽田地域庁舎	大田区東糀谷1-21-15
世田谷区世田谷	世田谷区役所	世田谷区世田谷4-21-27
渋谷区宇田川町	渋谷区立神南小学校	渋谷区宇田川町5-1
中野区若宮	都立鷺宮高等学校	中野区若宮3-46-8
杉並区久我山	杉並区土木部資材置場	杉並区久我山5-36-17
荒川区南千住	荒川区立第六瑞光小学校	荒川区南千住1-4-11
板橋区氷川町	板橋区立板橋第一小学校	板橋区氷川町13-1
練馬区石神井町	都立石神井公園内	練馬区石神井町5-21地先
練馬区北町	練馬区立北町小学校	練馬区北町1-14-11
足立区西新井	足立区立西新井第一小学校	足立区西新井6-21-3
葛飾区鎌倉	都有地	葛飾区鎌倉2-21-4
江戸川区鹿骨	東京都農林総合研究センター江戸川分場	江戸川区鹿骨1-15-1
江戸川区春江町	江戸川区立二之江中学校	江戸川区春江町5-3-3
江戸川区南葛西	都立葛西南高等学校	江戸川区南葛西1-11-1
八王子市片倉町	八王子市立由井中学校	八王子市片倉町553
八王子市館町	館ヶ丘団地中継ポンプ場	八王子市館町1097-66
立川市泉町	立川市役所	立川市泉町1156-9
武蔵野市関前	武蔵野市立第五小学校	武蔵野市関前3-2-20
青梅市東青梅	青梅市役所	青梅市東青梅1-11-1
府中市宮西町	府中市役所	府中市宮西町2-24
調布市深大寺南町	都立農業高等学校神代農場	調布市深大寺南町4-16-23
町田市金森	町田金森一丁目アパート	町田市金森1-22
町田市能ヶ谷	町田市立鶴川第二小学校	町田市能ヶ谷7-24-1
小金井市本町	小金井市役所	小金井市本町6-6-3
小平市小川町	小平市立中央公民館	小平市小川町2-1325
福生市本町	福生市役所	福生市本町5
狛江市中和泉	狛江市有地	狛江市中和泉3-4-10
東大和市奈良橋	東大和市立第一小学校	東大和市奈良橋4-573
清瀬市上清戸	清瀬市郷土博物館	清瀬市上清戸2-6-41
多摩市愛宕	多摩市有地	多摩市愛宕1-65-1
西東京市田無町	西東京市民会館	西東京市田無町4-15-11

別表 2 緊急時の発令及び解除の基準

区分	発 令 の 基 準	解 除 の 基 準
光 化 学 ス モ ッ グ 予 報	次のいずれかに該当する状態が発生したとき。 1 気象条件から見て、下三欄に規定する状態が発生することが予想される時。 2 オキシダントの大気含有率（容量比の1時間値とする。以下同じ。）が、下三欄に掲げる状態に近く、かつ、当該状態がさらに悪化することが予想される時。	次のいずれかに該当する時。 1 左に掲げる状態がないと認められる時。 2 左の下三欄に規定する緊急時の発令を行った時。
光 化 学 ス モ ッ 注 グ 意 報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.12 以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められる時。	発令地域（第7の緊急時の発令を行っている地域の範囲をいう。以下同じ。）内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.12 未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれなくなったと認められる時。
光 化 学 ス モ ッ 警 グ 報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.24 以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められる時。	発令地域内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.24 未満であって、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれなくなったと認められる時。
光 化 学 重 ス 大 モ ッ 急 グ 報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.4以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められる時。	発令地域内のすべての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.4 未満であって、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれなくなったと認められる時。

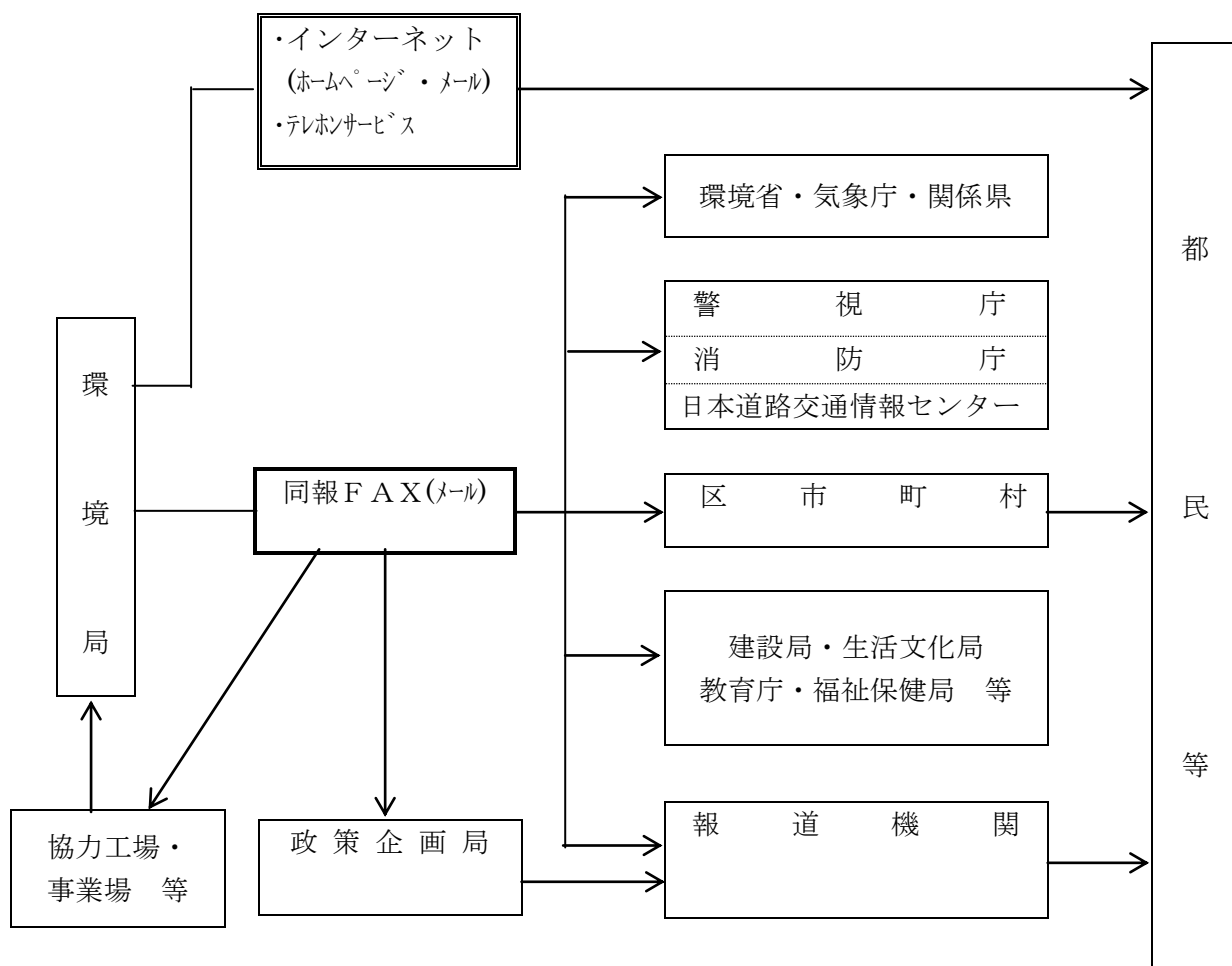
別表 3 緊急時の地域及び基準測定点

発令地域	基 準 測 定 点	発 令 地 域 の 範 囲
区 東 部	千代田区神田司町 江東区大島 中央区晴海 江戸川区鹿骨 港区高輪 江戸川区春江町 港区台場 江戸川区南葛西	千代田区、中央区、港区、江東区、江戸川区
区 北 部	荒川区南千住 葛飾区鎌倉 足立区西新井	台東区、墨田区、荒川区、足立区、葛飾区
区 西 部	国設東京新宿 板橋区氷川町 文京区本駒込 練馬区石神井町 中野区若宮 練馬区北町 杉並区久我山	新宿区、文京区、中野区、杉並区、豊島区、 北区、板橋区、練馬区
区 南 部	品川区豊町 大田区東糀谷 品川区八潮 世田谷区世田谷 目黒区碑文谷 渋谷区宇田川町	品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区
多摩北部	武蔵野市関前 東大和市奈良橋 小平市小川町 清瀬市上清戸 西東京市田無町	武蔵野市、小平市、東村山市、東大和市、 清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、西東京市
多摩中部	立川市泉町 小金井市本町 府中市宮西町 狛江市中和泉 調布市深大寺南町	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、 小金井市、国分寺市、国立市、狛江市
多摩西部	青梅市東青梅 福生市本町	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、 瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村
多摩南部	八王子市片倉町 町田市能ヶ谷 八王子市館町 多摩市愛宕 町田市金森	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市

別表 4 協力地域

協力地域	発令地域	協 力 地 域 の 範 囲
東 部	区 東 部	千代田区、中央区、港区、江東区、江戸川区
	区 北 部	台東区、墨田区、荒川区、足立区、葛飾区
中 部	区 西 部	新宿区、文京区、中野区、杉並区、豊島区、北区、板橋区、練馬区
	区 南 部	品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区
西 部	多摩北部	武蔵野市、小平市、東村山市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、西東京市
	多摩中部	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、小金井市、国分寺市、国立市、狛江市
	多摩西部	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村
多摩南部	多摩南部	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市

図1 光化学スモッグ緊急時連絡体制



(2) 光化学スモッグ緊急時対策実施要綱改正経緯

実施月日	措置要綱	段 階	オキシダント濃度	基準測定点	発令地域	備 考
昭和 45. 7. 27	東京都光化学スモッグ対策暫定実施要綱	緊急時第一段階 (光化学スモッグ注意報) 緊急時第二段階 (光化学スモッグ警報)	0. 15ppm以上 0. 30ppm以上	4ヶ所	3地域	4基準測定点 都庁前、城東、衛研、世田谷
45. 8. 10		光化学スモッグ予報（前日のみ）			全域	
47. 4. 15	東京都大気汚染緊急時対策実施要綱 (オキシダント)	光化学スモッグ予報（前日、当日） 光化学スモッグ注意報 光化学スモッグ警報 光化学スモッグ重大緊急報	0. 15ppm以上 0. 30ppm以上 0. 50ppm以上	14ヶ所	全域 4地域	10基準測定点追加 荒川、江戸川、糞谷、板橋、杉並、立川、田無、青梅、八王子、町田
47. 8. 28	同上要綱			15ヶ所		1期準測定点追加 石神井
48. 4. 2	同上要綱			20ヶ所		5基準測定点追加 6/1より 渋谷、中野、府中、小平、調布
48. 5. 15	学校情報（予報の発令がないときのみ提供）		0. 12ppm以上			
49. 9. 9	同上要綱			28ヶ所		8基準測定点追加 晴海、港、葛飾、島根、目黒、練馬北、久我山、福生
	学校情報（予報の有無にかかわらず提供）					
49. 11. 5	同上要綱					基準測定点移設 城東
49. 12. 5	同上要綱					基準測定点名称変更 島根→足立
50. 9. 1	同上要綱			36ヶ所		8基準測定点追加 文京、品川、狛江、武蔵野、小金井、清瀬、東大和、多摩
51. 3. 31	学校情報（廃止、要綱内に組み入れ）				4地域	条文の整理
51. 4. 1	同上要綱	同上 学校情報	0. 12ppm以上			被害発生時の初動調査及び学校 情報追加
51. 6. 14	同上要綱					基準測定点移設 城東
53. 4. 1	同上要綱	光化学スモッグ注意報 光化学スモッグ警報 光化学スモッグ重大緊急報 学校情報	0. 12ppm以上 0. 24ppm以上 0. 40ppm以上 0. 10ppm以上			発令基準等の変更 オキシダントの測定方法の変更
56. 3. 1	同上要綱	同上 光化学スモッグ学校情報 (名称の変更)				基準測定点移設 調布 基準測定点名称変更 衛研→国設東京
59. 11. 15	同上要綱	光化学スモッグ予報			4地域	条文等の整理
平成 4. 4. 1	同上要綱					基準測定点名称変更 協力工場等の選定基準明文化
5. 4. 1	同上要綱			41ヶ所		5基準測定点の追加 江戸川区春江町、江戸川区南葛西、品川区八潮、八王子市片倉、町田市能ヶ谷町
7. 4. 1	同上要綱			42ヶ所		基準測定点追加 江東区有明 名称変更 大田区東糞谷
8. 4. 1	同上要綱					基準測定点変更 荒川区南千住
9. 4. 1	同上要綱					基準測定点廃止 八王子市明神町 基準測定点追加 八王子市館町
10. 4. 1	同上要綱			41ヶ所	8地域に変更	基準測定点廃止 杉並 連絡方法をFAXに変更
11. 4. 1	同上要綱					3基準測定点変更 千代田区神田 司町、港区台場、足立区西新井
12. 4. 1	同上要綱					基準測定点変更 清瀬市上清戸
13. 4. 1	同上要綱					名称変更 西東京市田無町 条例の変更 環境確保条例 周知方法、措置状況報告の変更
15. 4. 1	同上要綱					名称変更 環境改善部 健康局 発令解除決定者の区分の変更
16. 9. 1	同上要綱					名称変更 福祉保健局 知事本局 国設東京新宿 八王子市片倉町
19. 4. 1	同上要綱					VOC協力工場追加
20. 4. 1	同上要綱					板橋区氷川町移設
21. 4. 1	同上要綱					練馬区石神井町、文京区本駒込 移設
22. 4. 1	同上要綱					中野区若宮移設
22. 12. 1	同上要綱					立川市泉町、板橋区本町移設
23. 4. 1	同上要綱					名称変更 町田市能ヶ谷 港区高輪移設
25. 2. 21	同上要綱					町田市金森移設
26. 4. 1	同上要綱					中野区若宮移設
28. 4. 1	同上要綱					渋谷区宇田川町、板橋区氷川町移設

平成28年12月 発行

平成28年度
登録第61号

環境資料第28037号

平成28年の光化学スモッグの発生状況

編集・発行 東京都環境局環境改善部大気保全課

所在地 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03(5388)3483

印刷 株式会社三響社

所在地 東京都千代田区神田小川町3-2